

若者の意識に関する調査報告書

平成21年12月

新潟市教育委員会 生涯学習課

目次

I 調査概要	3
1. 調査の目的	4
2. 調査の設計	4
3. 調査の項目	4
4. 集計・分析にあたって	4
5. 回収結果	5
6. 回答者の特性	6
II 調査結果	9
1. 自身のことについて	10
(1) 現時点での自身について	10
(2) 自立について	12
(3) 周囲とのコミュニケーションについて	14
(4) 生きていくうえで重視することについて	18
(5) 共感や影響を受ける対象	19
(6) 悩みや心配ごとについて	20
2. 一緒に過ごしてきた家族のことについて	22
(1) 生育過程における家族との関係	22
(2) しつけについて	25
3. 学校や職業のことについて	27
(1) 学校や学習について	27
(2) 働くことについて	29
4. 地域社会との関わりについて	34
(1) 近所づきあいについて	34
(2) 地域社会における、学校や仕事以外の活動について	35
5. その他	36
(1) 新潟市における施設について	36
(2) 今の日本社会で特に問題だと思うこと	38
6. 自由記述（概略）	39
III 調査結果の考察	40
IV 調査票	51

I 調査概要

1. 調査の目的

本市の若者の意識と現状を把握し、自立支援等にかかる施策検討の参考とするため、本調査を実施する。

2. 調査の設計

- (1) 調査地域：新潟市全域
- (2) 調査対象：平成 21 年 6 月 30 日現在の住民基本台帳に登録されている
15 歳以上 30 歳未満の市民
- (3) 標本数：2,500 人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳からの層化無作為抽出（回収率は 46.7%）
- (5) 調査方法：郵送法（調査票の配布、回収とも）
- (6) 調査期間：平成 21 年 7 月 27 日～8 月 7 日

3. 調査の項目

- (1) 自身のことについて
- (2) 一緒に過ごしてきた家族のことについて
- (3) 学校や職業のことについて
- (4) 地域社会との関わりについて
- (5) その他

4. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで 100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 数値（%）は小数点第 2 位以下を四捨五入してあるので、総数と内訳の計が一致しないこともある。
- (3) 複数回答の設問は、回答が 2 つ以上ありうるので、合計は 100%を超えることもある。

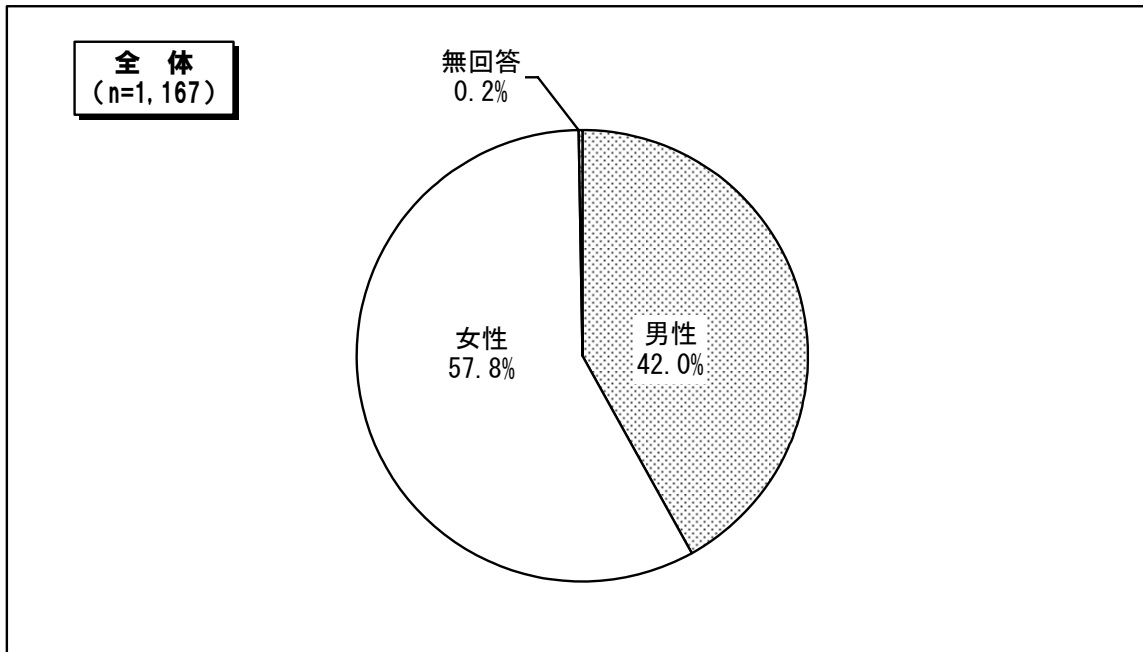
5. 回収結果

地区		区分	母集団数	構成比% (母集団)	標本数	有効 回答数	回収率%
市 全 体			128,592	100.0	2,500	1,167	46.7
性 別	1 男 性		64,702	50.3	1,263	490	38.8
	2 女 性		63,890	49.7	1,237	675	54.6
	性無回答					2	
1 北区			13,080	10.2	254	116	45.7
2 東区			21,978	17.1	427	198	46.4
3 中央区			27,535	21.4	535	237	44.3
4 江南区			10,845	8.4	211	110	52.1
5 秋葉区			11,814	9.2	230	109	47.4
6 南区			8,154	6.3	158	78	49.4
7 西区			25,212	19.6	491	230	46.8
8 西蒲区			9,974	7.8	194	86	44.3
居住区無回答						3	

回収率は、男性よりも女性のほうが1割以上高い。
地区別は、江南区や南区での回収が他区に比して多い。

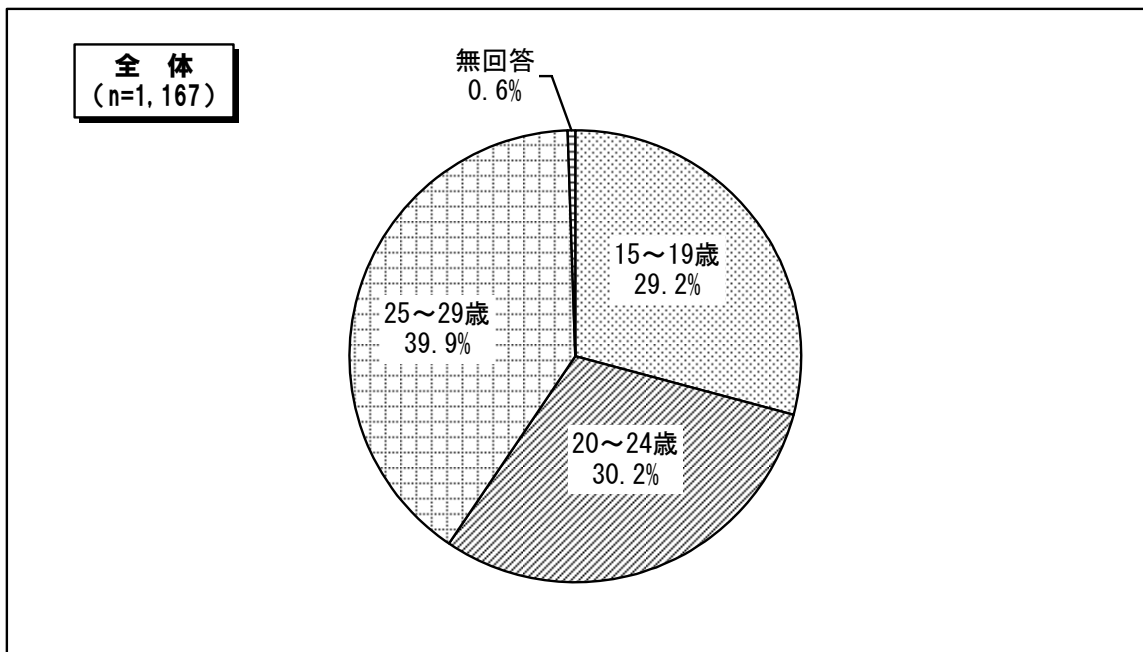
6. 回答者の特性 (n=1,167)

◆ 性別



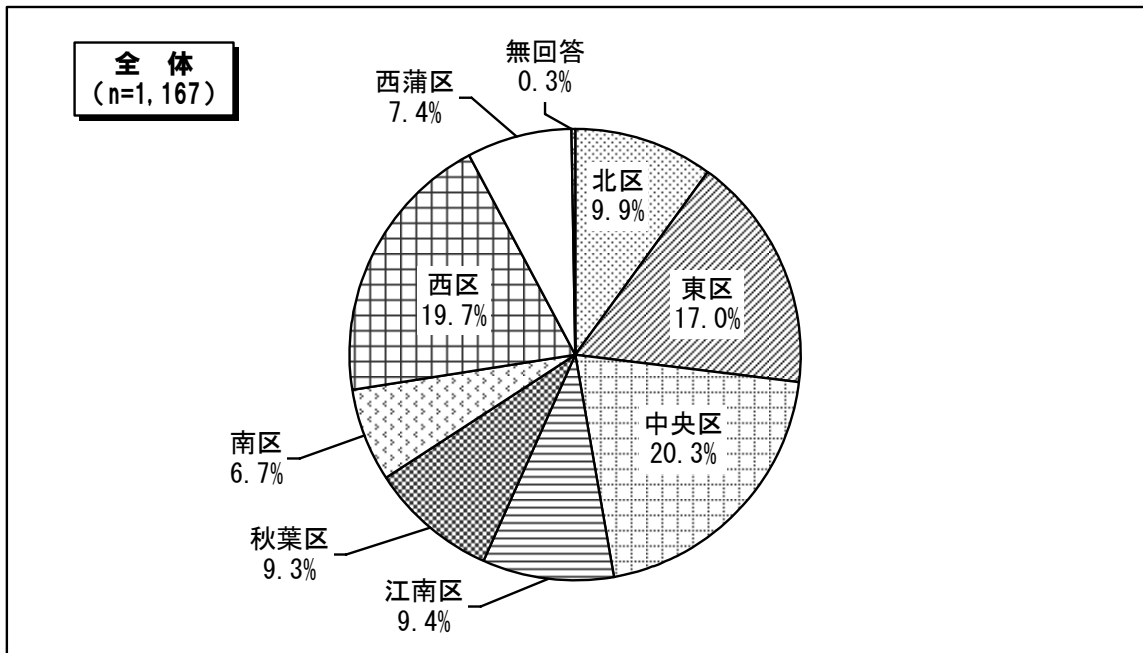
回答者の構成は、「女性」が多めで6割弱を占める。

◆ 年齢別 (平成21年4月1日現在)



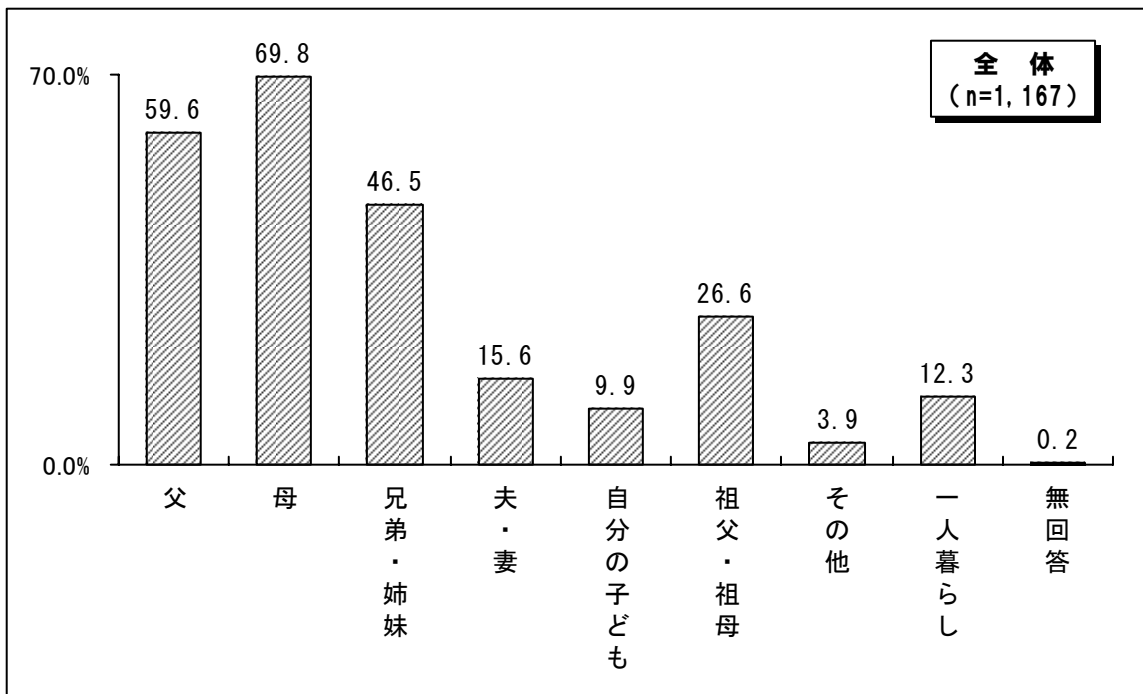
「25~29歳」が約4割、「15~19歳」及び「20~24歳」が約3割ずつである。

◆ 居住区別



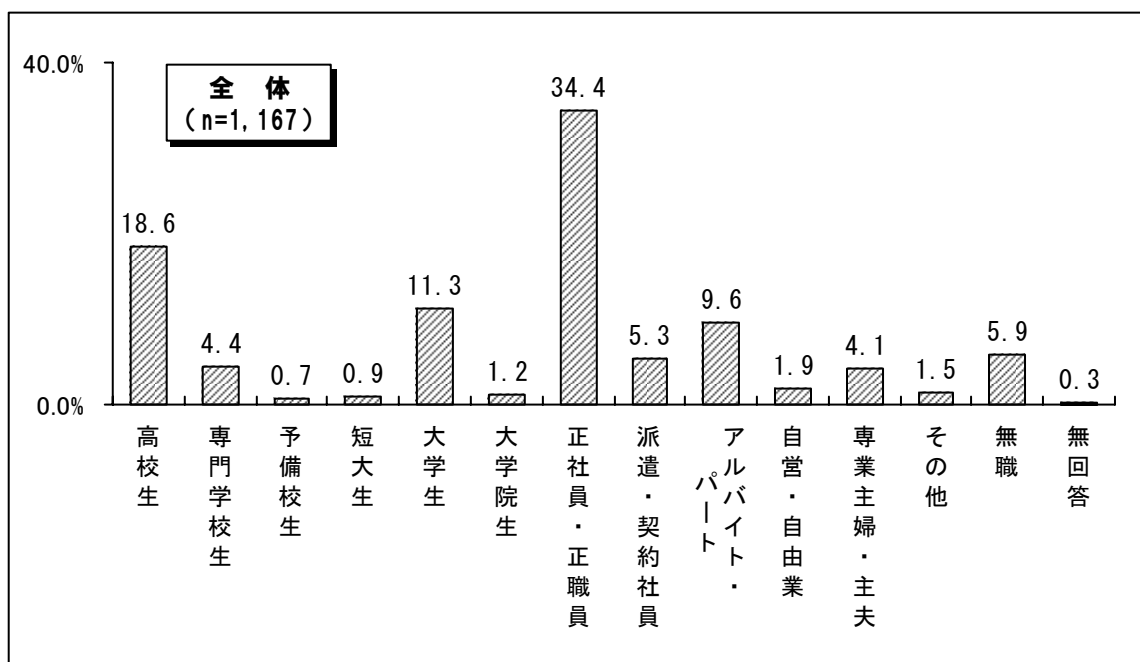
「中央区」および「西区」が約2割ずつ、続いて「東区」が2割弱を占めている。

◆ 同居している家族



『両親や兄弟・姉妹』との同居が多く、概ね4人に1人は「祖父・祖母」と同居している。

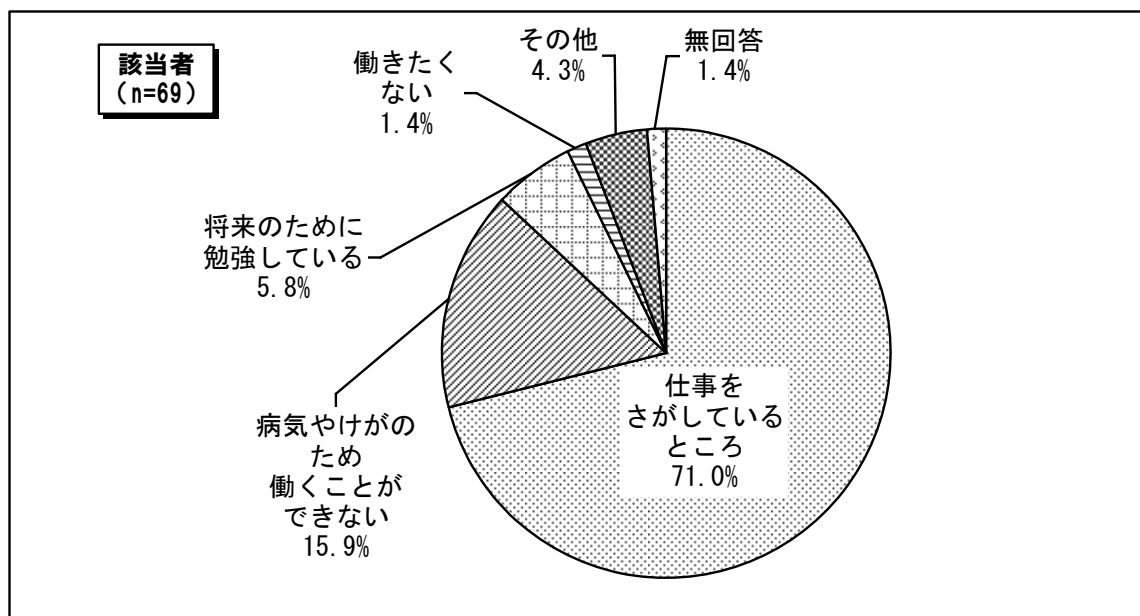
◆ 職業別



「正社員・正職員」が3割強で最も多く、「正社員・正職員」、「派遣・契約社員」、「アルバイト・パート」を合わせた『雇用者』が約5割(49.3%)、「高校生」から「大学院生」までを合わせた『学生』が4割弱(37.1%)である。

その他は、「公務員」(4名)などである。

◆ (職業別で「無職」と回答した人のみ) その理由



「仕事をさがしているところ」との回答が、約7割を占めている。

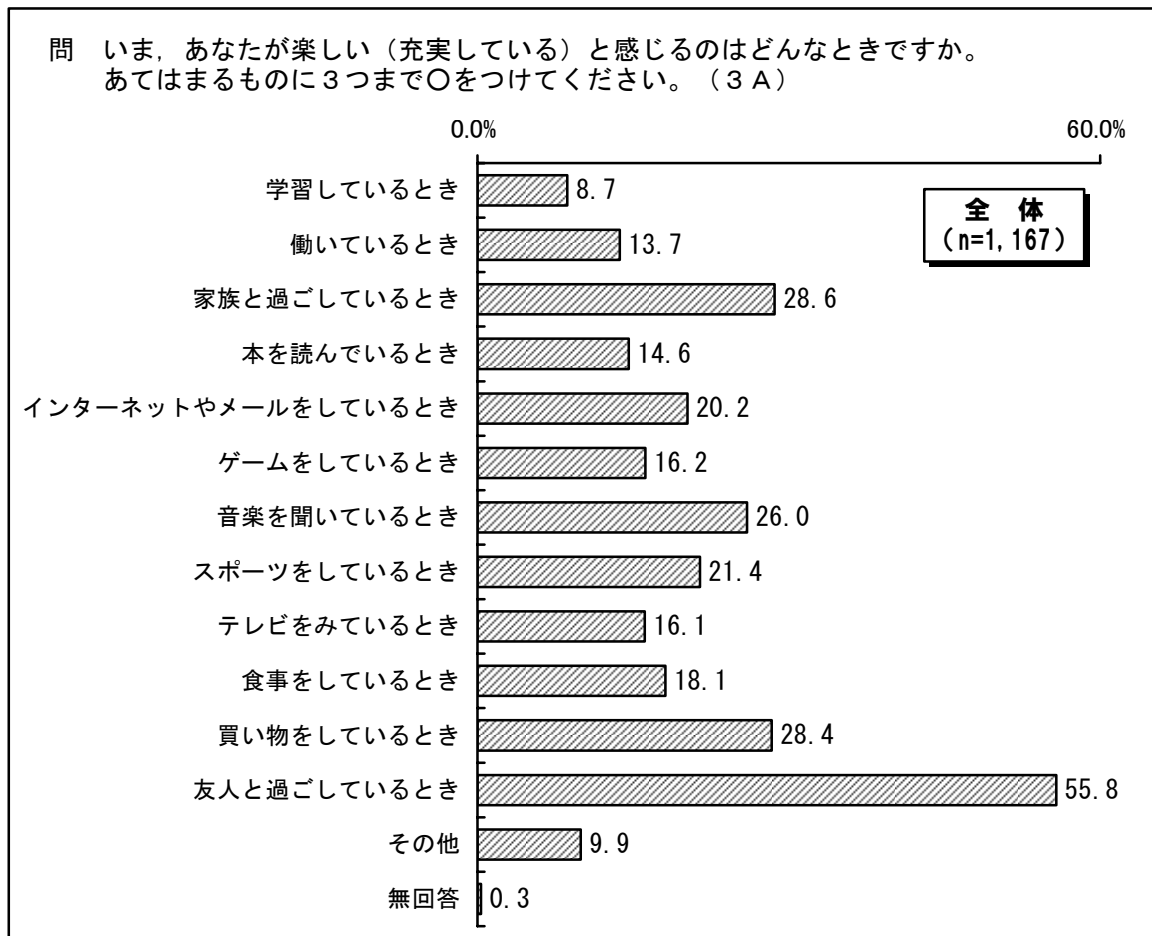
その他は、「仕事を探す為に勉強している途中」「結婚を控えている為」「8月末、就職予定」(各1名)である。

II 調査結果

1. 自身のことについて

(1) 現時点での自身について

① 楽しい（充実している）と感じるとき



6割弱が「友人と過ごしているとき」が楽しいと感じている。

【全体結果の要約】

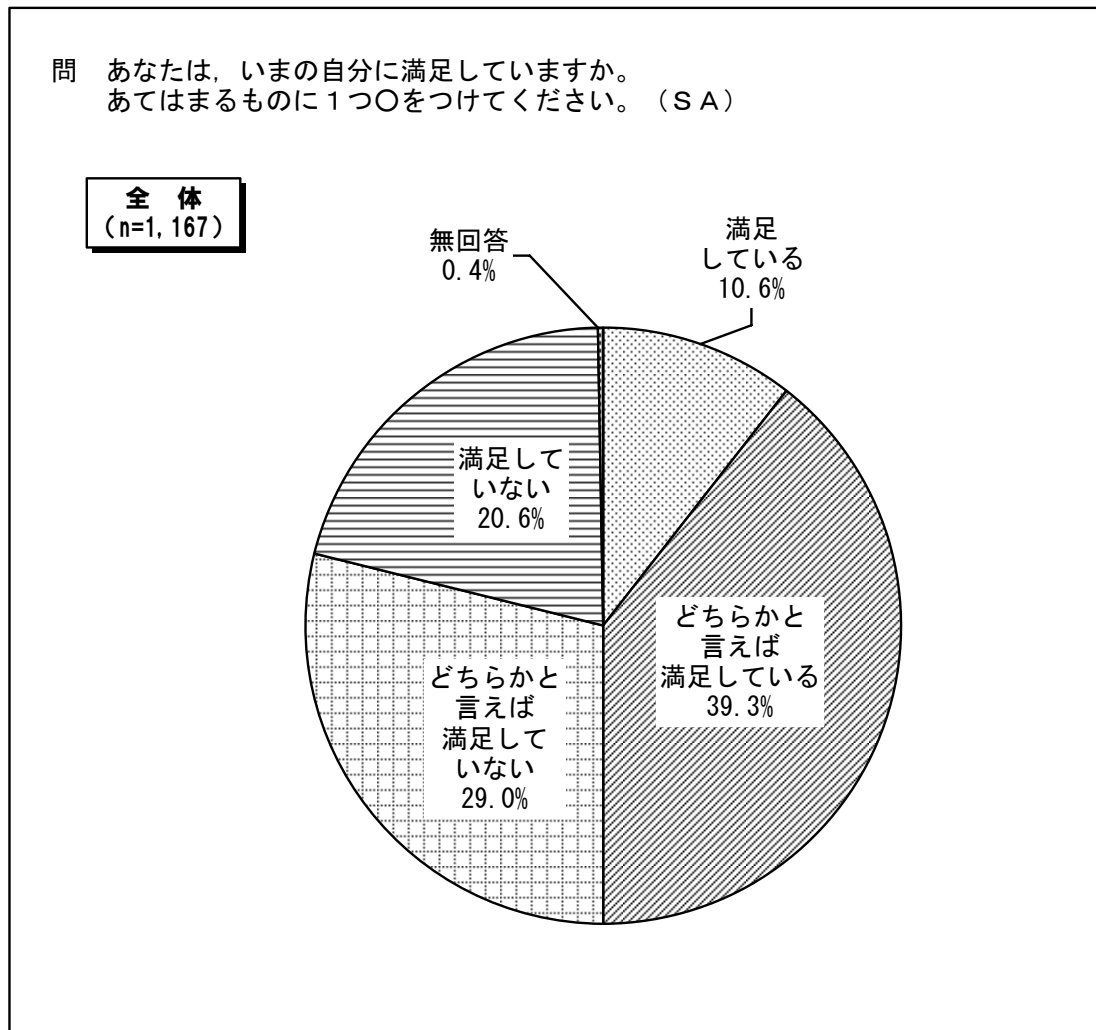
最も多いのは「友人と過ごしているとき」で6割弱（55.8%）と、他を大きく引き離している。以下、「家族と過ごしているとき」（28.6%）、「買い物をしているとき」（28.4%）がほぼ並び、「音楽を聞いているとき」（26.0%）、「スポーツをしているとき」（21.4%）、「インターネットやメールをしているとき」（20.2%）と続いて、2割台の回答率を獲得している。

回答率が1割台だったのは、「食事をしているとき」（18.1%）、「ゲームをしているとき」（16.2%）、「テレビをみているとき」（16.1%）、「本を読んでいるとき」（14.6%）、「働いているとき」（13.7%）である。

最も少ないのは「学習しているとき」（8.7%）で、回答率は1割に満たない。

その他は、「趣味の活動をしているとき」（18名）、「恋人と過ごしているとき」（16名）、「（自動車またはバイクで）ドライブをしているとき」（10名）などが寄せられている。

② いまの自分への満足状況



いまの自分については『満足している』と『満足していない』がほぼ半々ずつ。

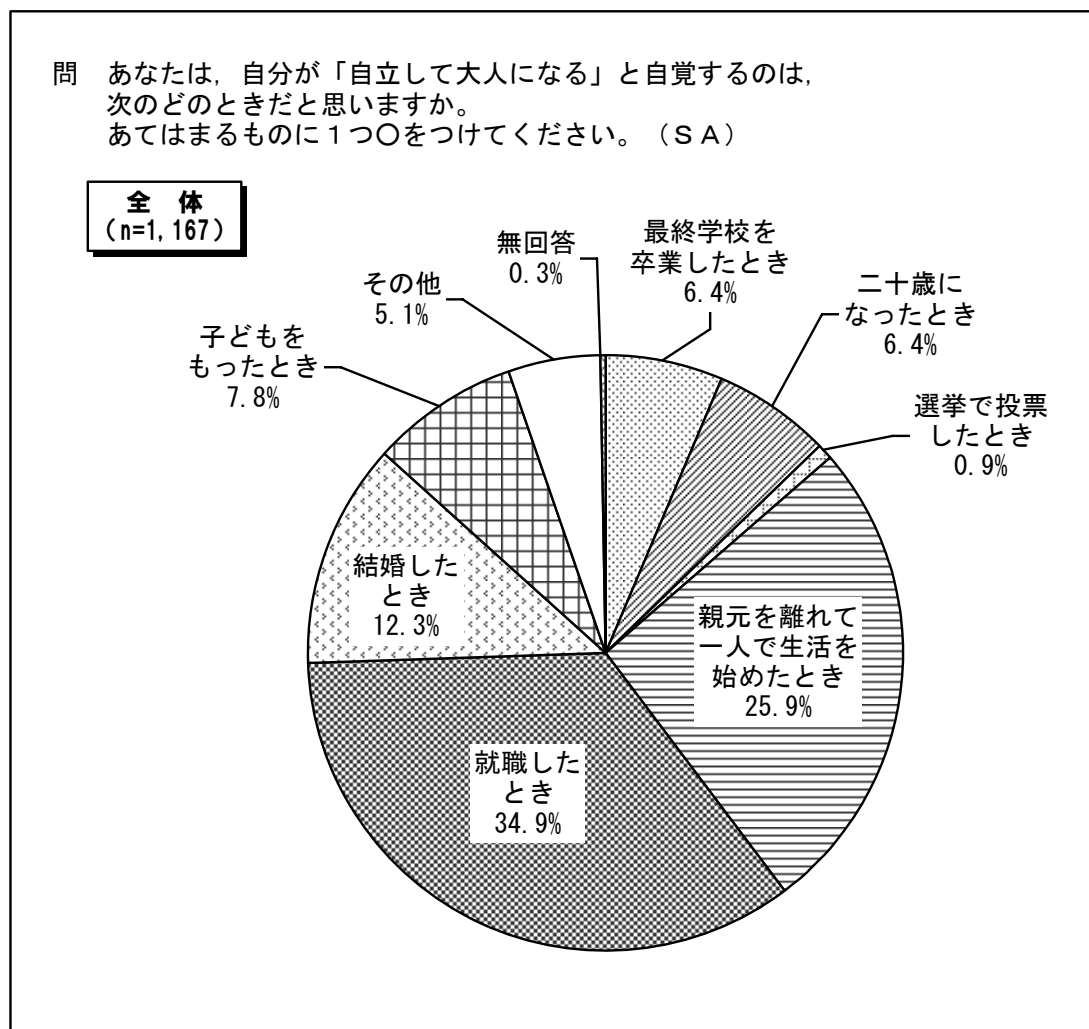
【全体結果の要約】

「どちらかと言えば満足している」が約4割（39.3%）と最も多く、次いで「どちらかと言えば満足していない」が3割弱（29.0%）となっている。「満足していない」と回答した人も、約2割（20.6%）存在する。

「満足している」と「どちらかと言えば満足している」を合わせた『満足している』は約5割（49.9%）、「どちらかと言えば満足していない」と「満足していない」を合わせた『満足していない』も約5割（49.6%）で、ほぼ半々ずつという結果になっている。

(2) 自立について

① 「自立して大人になる」と自覚するとき



3割強が「就職したとき」に自立して大人になると自覚する。

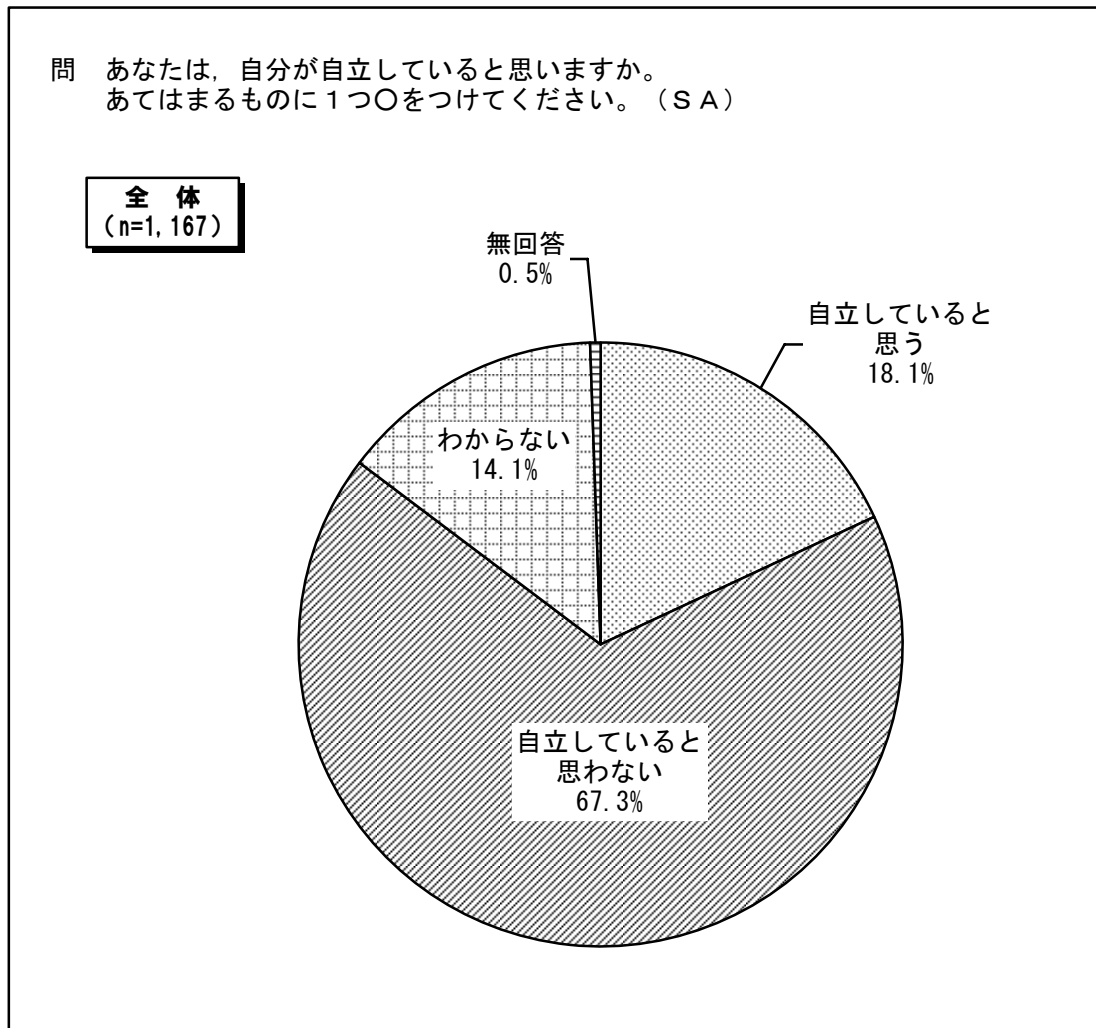
【全体結果の要約】

最も多いのは「就職したとき」で、3割強（34.9%）の人が回答している。次いで「親元を離れて一人で生活を始めたとき」が3割弱（25.9%）で多く、この二つを合わせた『経済面または生活面で、親から離れたとき』が約6割（60.8%）となっている。

一方、「結婚したとき」（12.3%）と「子どもを持ったとき」（7.8%）の『結婚や出産』に関する回答は、合わせて約2割（20.1%）である。「二十歳になったとき」（6.4%）と「選挙で投票したとき」（0.9%）の『成人年齢』に関する回答は、合わせても7.3%と1割に満たない。

その他は、「自分のお金で生活を始めたとき」「わからない」（各5名）、「精神的に自立したとき」（4名）、「自分が自立したと思ったとき」（3名）などが寄せられている。

② 自立の状況



7割弱が自分を「自立していると思わない」。

【全体結果の要約】

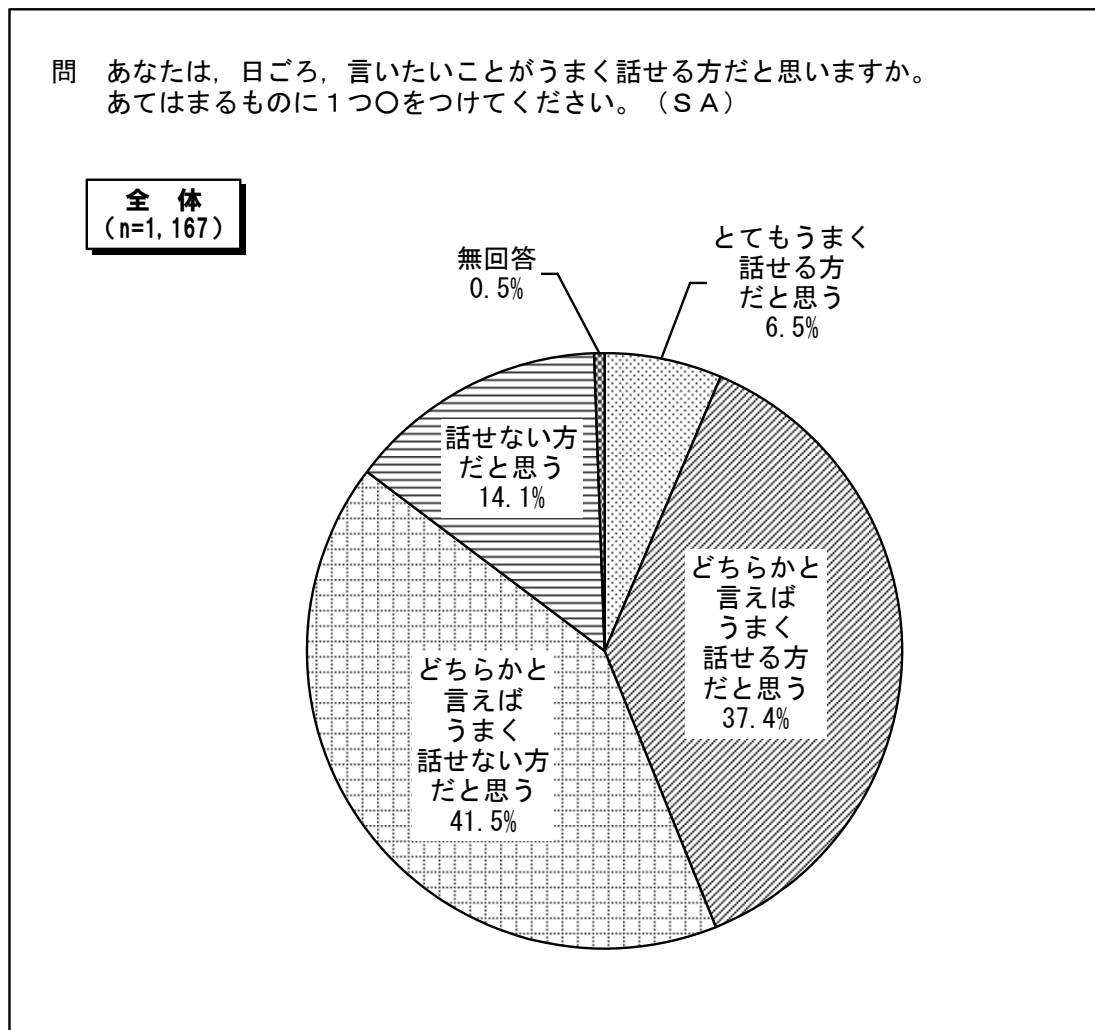
「自立していると思わない」が最も多く、7割弱（67.3%）を占める。これに対し、「自立していると思う」とはっきり自立していることを自覚している人は2割弱（18.1%）である。

一方で「わからない」との回答も14.1%見られ、概ね10人に1人が『自分が自立しているかどうか、判断が付かない』との結果になった。

(3) 周囲とのコミュニケーションについて

① 自分の会話（表現）能力について

問 あなたは、日ごろ、言いたいことがうまく話せる方だと思いますか。
あてはまるものに1つ○をつけてください。（SA）



6割弱が言いたいことを『話せない方』だと思っている。

【全体結果の要約】

「どちらかと言えばうまく話せない方だと思う」が4割強（41.5%）で最も多く、次いで「どちらかと言えばうまく話せる方だと思う」が4割弱（37.4%）となっている。

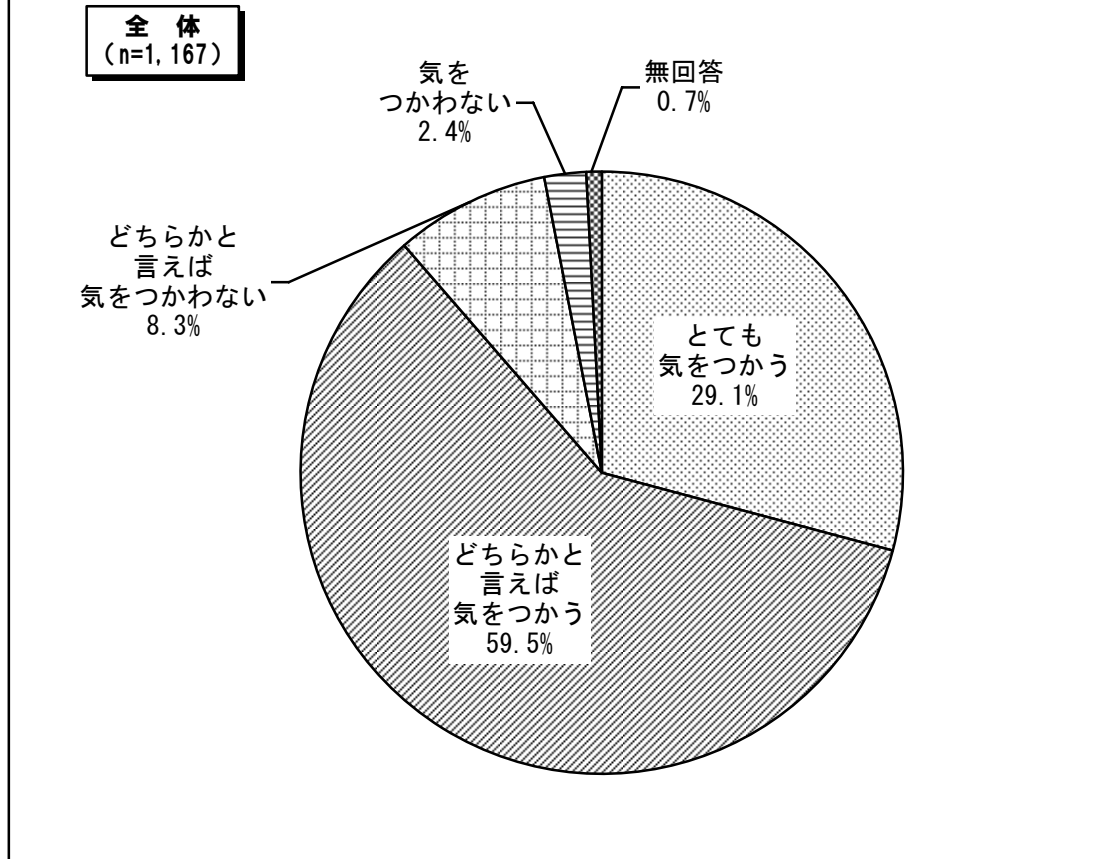
「どちらかと言えばうまく話せない方だと思う」と「話せない方だと思う」を合わせた『話せない方』は、6割弱（55.6%）となっている。対して、「とてもうまく話せる方だと思う」と「どちらかと言えばうまく話せる方だと思う」を合わせた『話せる方』は4割強（43.9%）と、『話せない方』だと思っている人の割合が、『話せる方』だと思っている人の割合を上回っている。

② 人とのつきあいについて

②-1 人とのつきあいにおける気づかいについて

問 あなたの人とのつきあいについてお聞きします。
あてはまるものに1つ○をつけてください。

(1) 人とのつきあいにいつも気をつかう方ですか。(SA)



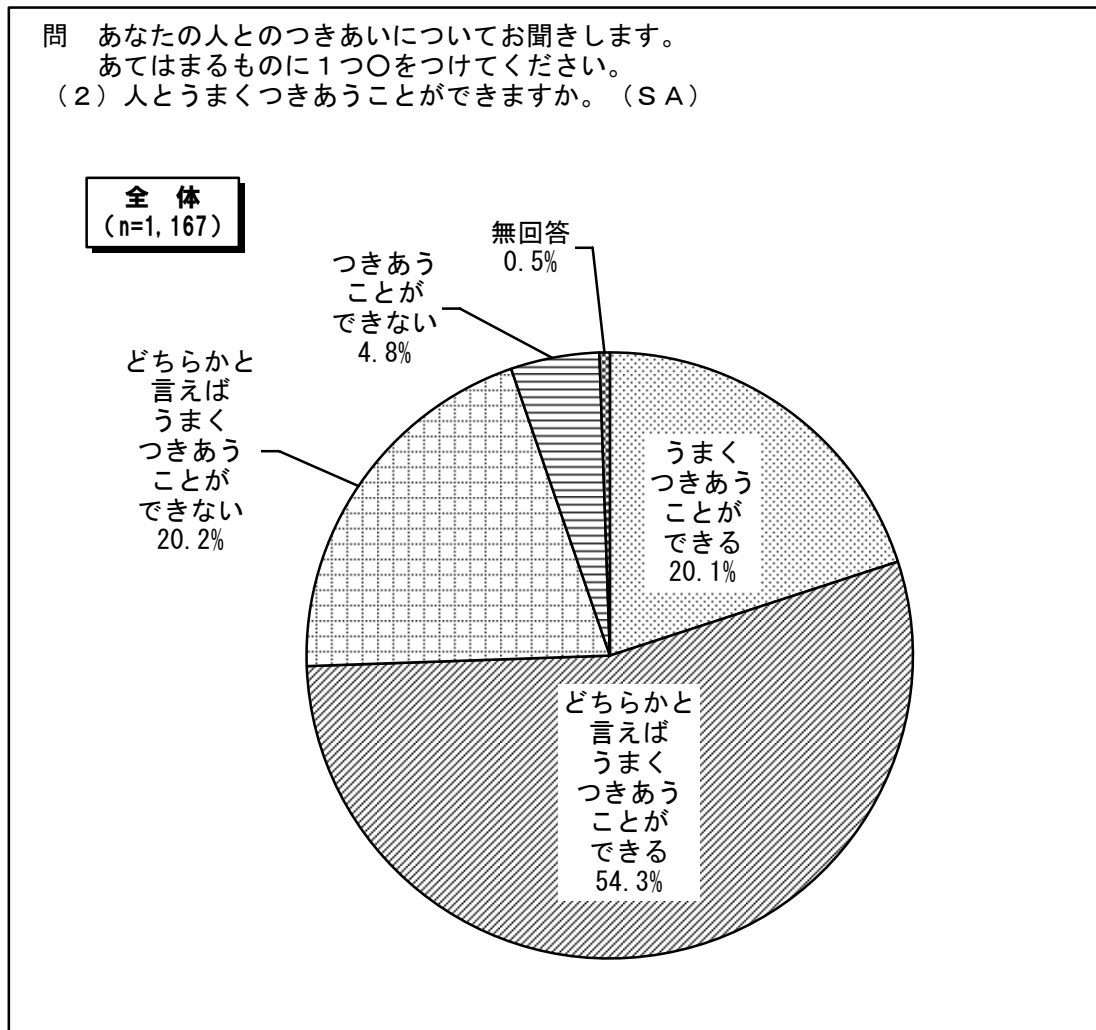
9割弱が人とのつきあいに『気をつかう』。

【全体結果の要約】

「どちらかと言えば気をつかう」が約6割(59.5%)で最も多く、「とても気をつかう」が約3割(29.1%)で続く。この二つを合わせた『気をつかう』は9割弱(88.6%)で、大勢を占めている。

これに対し、「どちらかと言えば気をつかわない」(8.3%)と「気をつかわない」(2.4%)を合わせた『気をつかわない』は、約1割(10.7%)であった。

②-2 自分の人とのつきあいについて



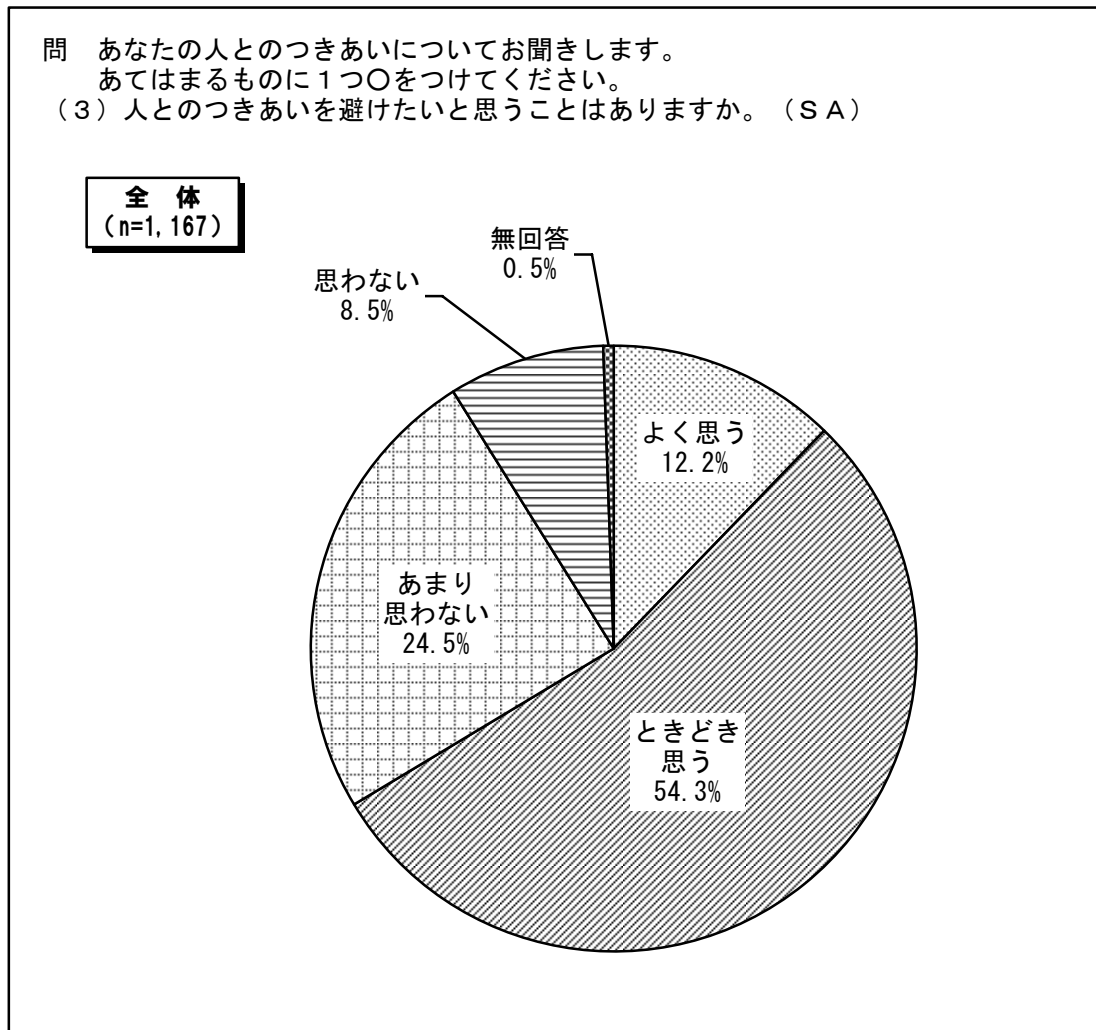
概ね4人に3人は『つきあい上手』、残る1人は『つきあい下手』と感じている。

【全体結果の要約】

「どちらかと言えばうまくつきあうことができる」(54.3%)が最も多く、5割強を占めている。次いで、「どちらかと言えばうまくつきあうことができない」(20.2%)、「うまくつきあうことができる」(20.1%)が、それぞれ約2割で続いている。

「うまくつきあうことができる」と「どちらかと言えばうまくつきあうことができる」を合わせた『つきあい上手』は7割強(74.4%)、一方で「どちらかと言えばうまくつきあうことができない」と「つきあうことができない」を合わせた『つきあい下手』は、2割強(25.0%)である。概ね4人に3人は『つきあい上手』、残る1人は『つきあい下手』と感じているとの結果になっている。

②-3 人とのつきあいを避けたいと思うことがあるか



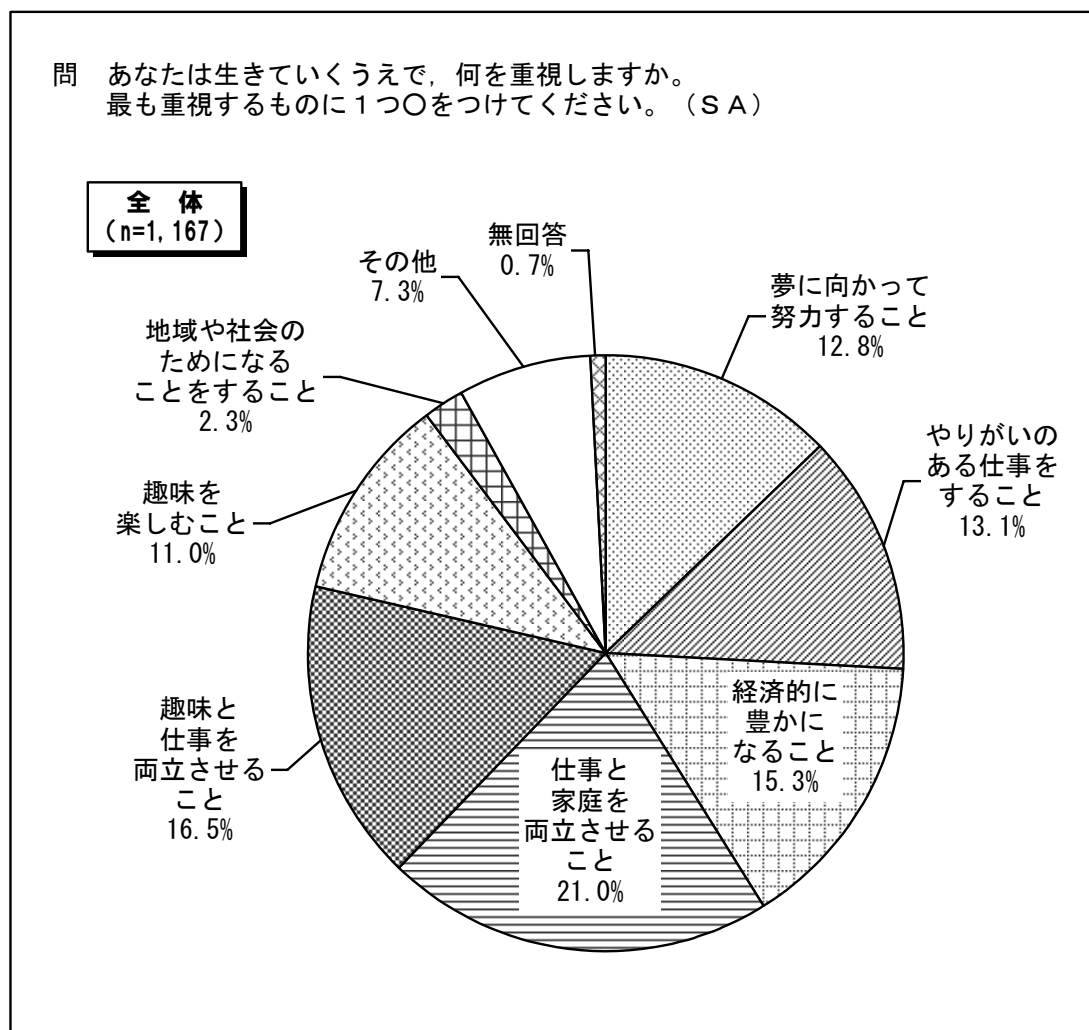
概ね3人に2人はつきあいを避けたいと『思う』ことがあり、残る1人が『思わない』。

【全体結果の要約】

「ときどき思う」が最も多く、5割強（54.3%）を占めている。次いで、「あまり思わない」が2割強（24.5%）、「よく思う」が1割強（12.2%）で続く。

「よく思う」と「ときどき思う」を合わせた『思う』が7割弱（66.5%）、「あまり思わない」と「思わない」を合わせた『思わない』が3割強（33.0%）で、概ね3人に2人はつきあいを避けたいと『思う』ことがあり、残る1人が『思わない』との結果になっている。

(4) 生きていくうえで重視することについて



4割弱が生きていくうえで『仕事と私生活との両立』を重視している。

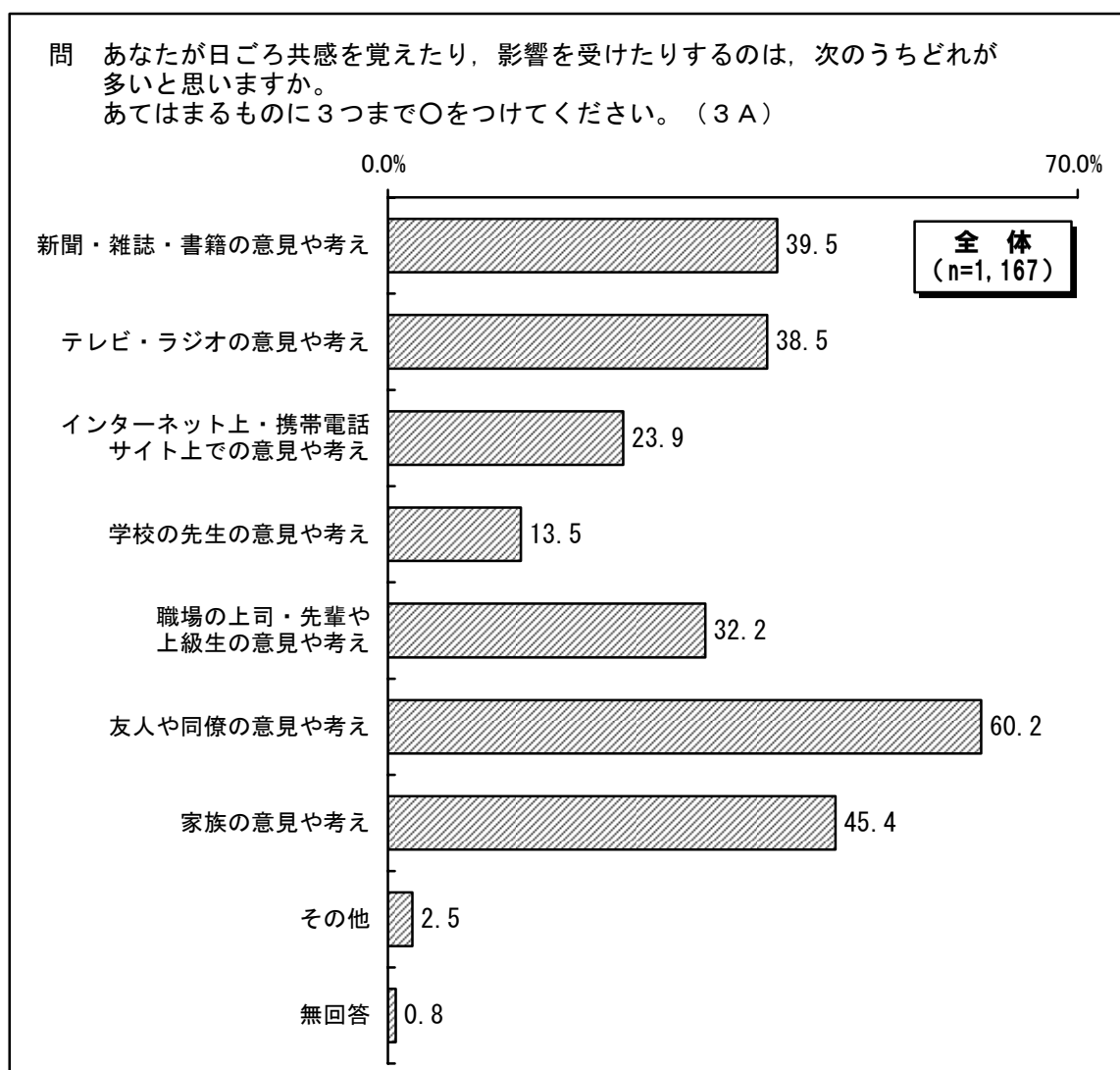
【全体結果の要約】

「仕事と家庭を両立させること」(21.0%)が最も多く、唯一回答率が2割台である。以下、「趣味と仕事を両立させること」(16.5%)、「経済的に豊かになること」(15.3%)、「やりがいのある仕事をする事」(13.1%)、「夢に向かって努力すること」(12.8%)の順で続いている。一方、選択肢中で「地域や社会のためになることをすること」のみ2.3%と目立って低い。

「仕事と家庭を両立させること」と「趣味と仕事を両立させること」を合わせた『仕事と私生活の両立』が、4割弱(37.5%)を占めている。

その他は、「人生を楽しむこと」(15名)、「家庭内の充実、または家族の幸せ」(14名)、「人とのコミュニケーション」(9名)などが寄せられている。

(5) 共感や影響を受ける対象



約6割が「友人や同僚の意見や考え」に共感を覚えたり影響を受けたりしている。

【全体結果の要約】

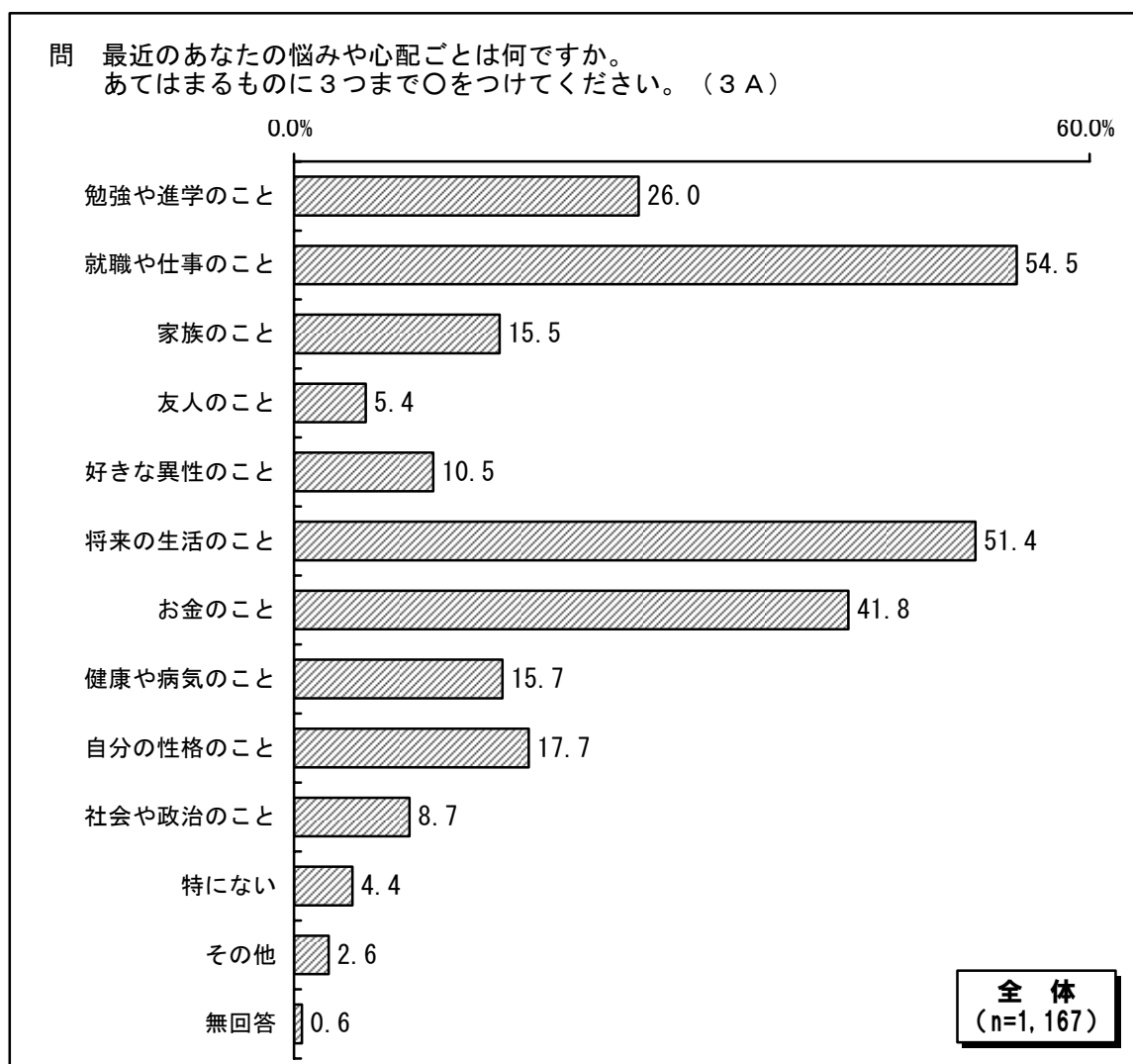
「友人や同僚の意見や考え」が約6割(60.2%)で最も多く、唯一過半数となっている。次いで「家族の意見や考え」が5割弱(45.4%)と、身近な人の意見に共感を覚えたり影響を受けたりする傾向が強い。

『マスメディア』については、「新聞・雑誌・書籍の意見や考え」が約4割(39.5%)、「テレビ・ラジオの意見や考え」が4割弱(38.5%)と、ともに回答率3割台である。『コミュニケーションメディア』である「インターネット上・携帯電話サイト上の意見や考え」は2割強(23.9%)と、『マスメディア』が『コミュニケーションメディア』を10ポイント以上上回っている。

最も少ないのは「学校の先生の意見や考え」(13.5%)で、唯一、回答率1割台である。その他は、「特になし」(8名)、「音楽」(6名)などが寄せられている。

(6) 悩みや心配ごとについて

① 悩みや心配ごとの内容



悩みや心配ごとのトップ3は、「就職や仕事のこと」「将来の生活のこと」「お金のこと」。

【全体結果の要約】

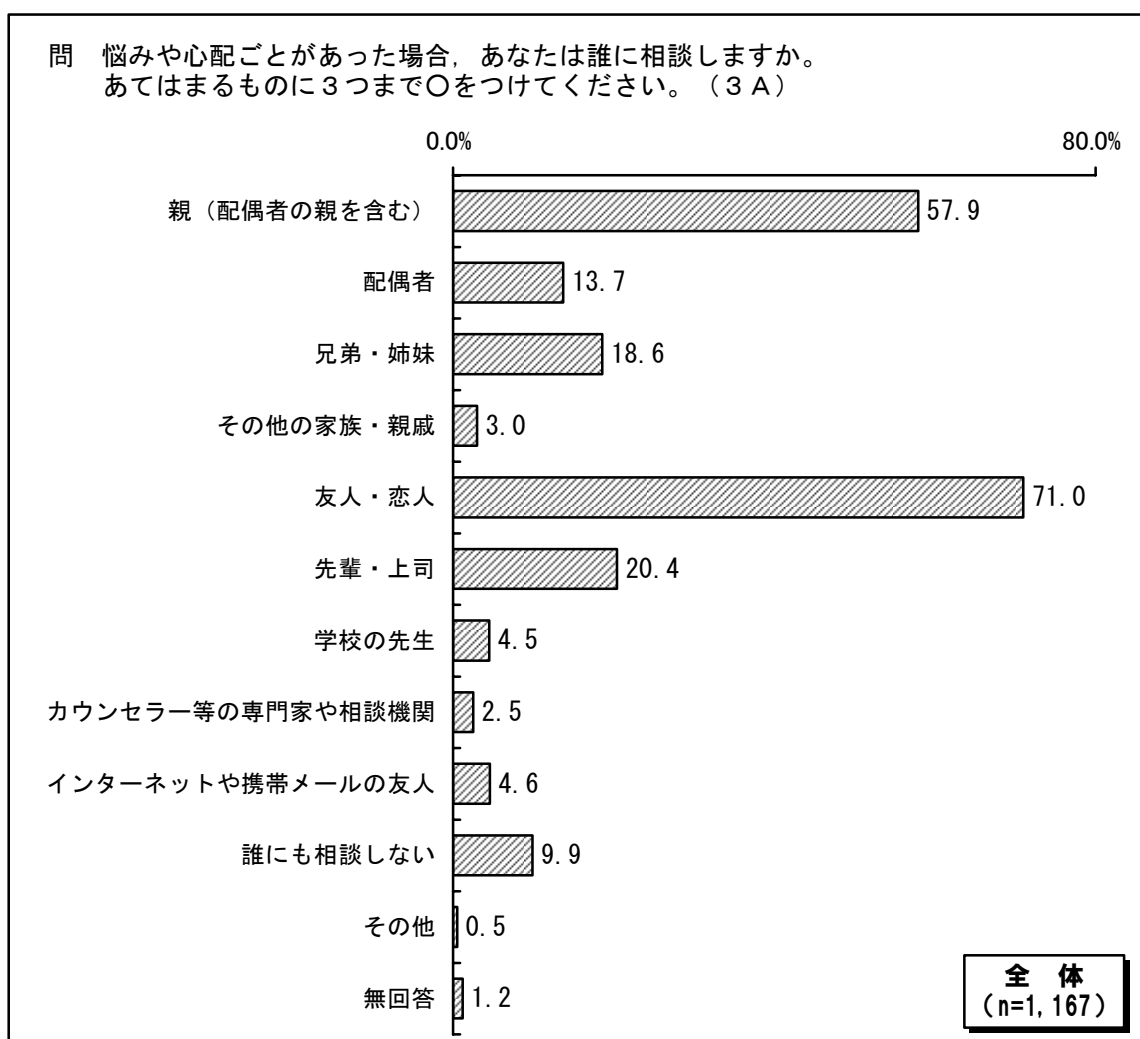
「就職や仕事のこと」(54.5%)が最も多く、「将来の生活のこと」(51.4%)が続く。この2つは5割強の人が回答している。3番目は「お金のこと」(41.8%)で、これら3つは他の選択肢を引き離して多い。以下、「勉強や進学のこと」(26.0%)、「自分の性格のこと」(17.7%)の順で続く。

対人関係の選択肢で最も多かったのは「家族のこと」(15.5%)だが、回答率1割台に止まっている。

悩みや心配ごとが「特にない」人は4.4%と、1割に満たない。

その他は、「自分の容姿のこと」「子育てのこと」(各4名)、「部活のこと」「結婚のこと」(各3名)などが寄せられている。

② 悩みや心配ごとがあった場合の相談相手



過半数が「友人・恋人」および「親 (配偶者の親を含む)」を相談相手にしている。

【全体結果の要約】

「友人・恋人」(71.0%)が最も多く、「親 (配偶者の親を含む)」(57.9%)が続く。この2つは過半数の人が回答しており、他の選択肢を引き離して多い。以下、「先輩・上司」(20.4%)、「兄弟・姉妹」(18.6%)、「配偶者」(13.7%)の順で続く。

一方、最も少なかったのは「カウンセラー等の専門家や相談機関」(2.5%)である。ほか回答率が1割に満たなかったのは、「その他の家族・親戚」(3.0%)、「学校の先生」(4.5%)、「インターネットや携帯メールの友人」(4.6%)となっている。「友人・恋人」と比べ、友人であっても直接面識の無い「インターネットや携帯メールの友人」を相談相手に選ぶことは非常に少ない。

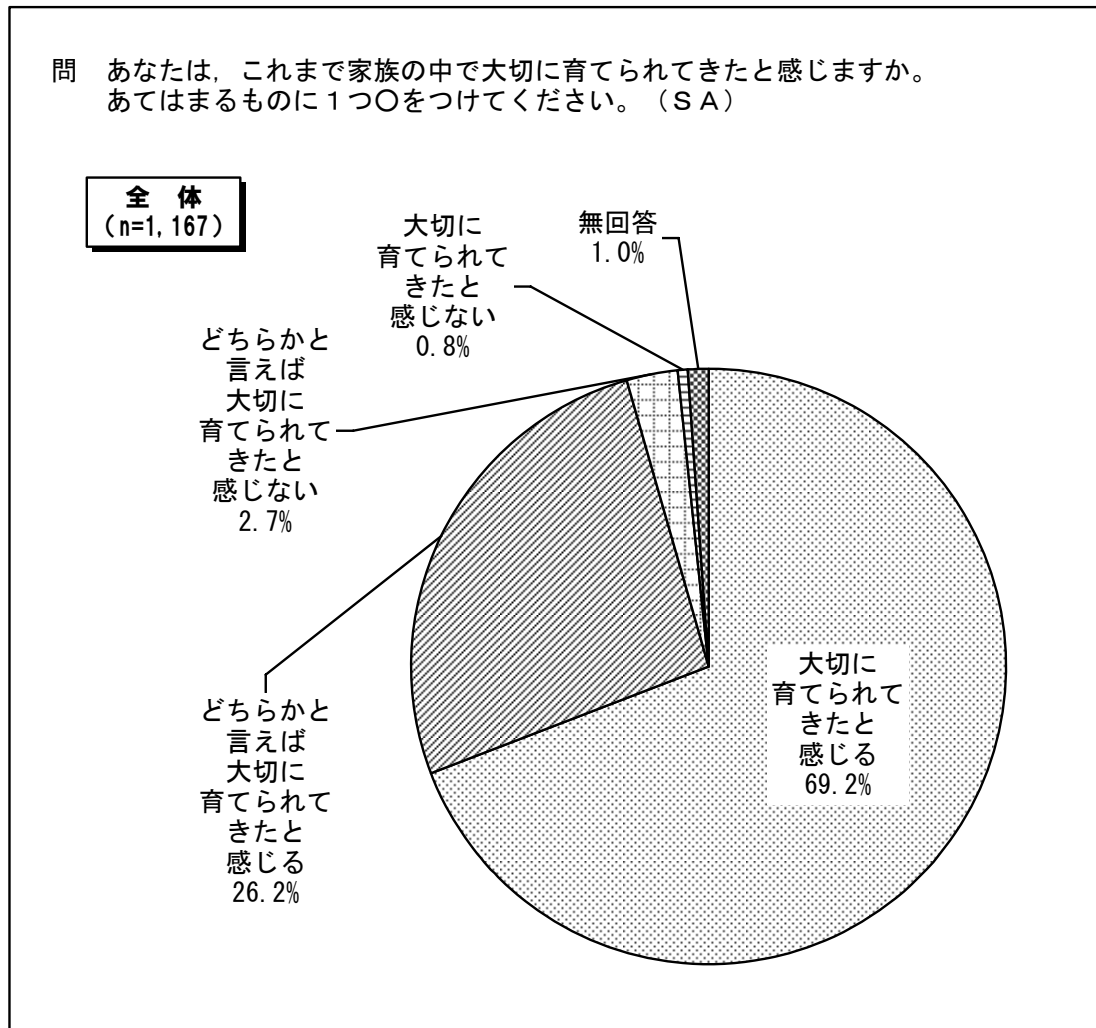
なお、「誰にも相談しない」は9.9%と、概ね10人に1人は誰にも相談せず自力のみで対応しているとの結果になっている。

その他は、「話しやすい人」「同僚」「格闘技を一緒にやっている人」「病院」「ペット」(各1名)が寄せられている。

2. 一緒に過ごしてきた家族のことについて

(1) 生育過程における家族との関係

① 家庭における育てられ方



約7割が家族の中で「大切に育てられてきたと感じる」。

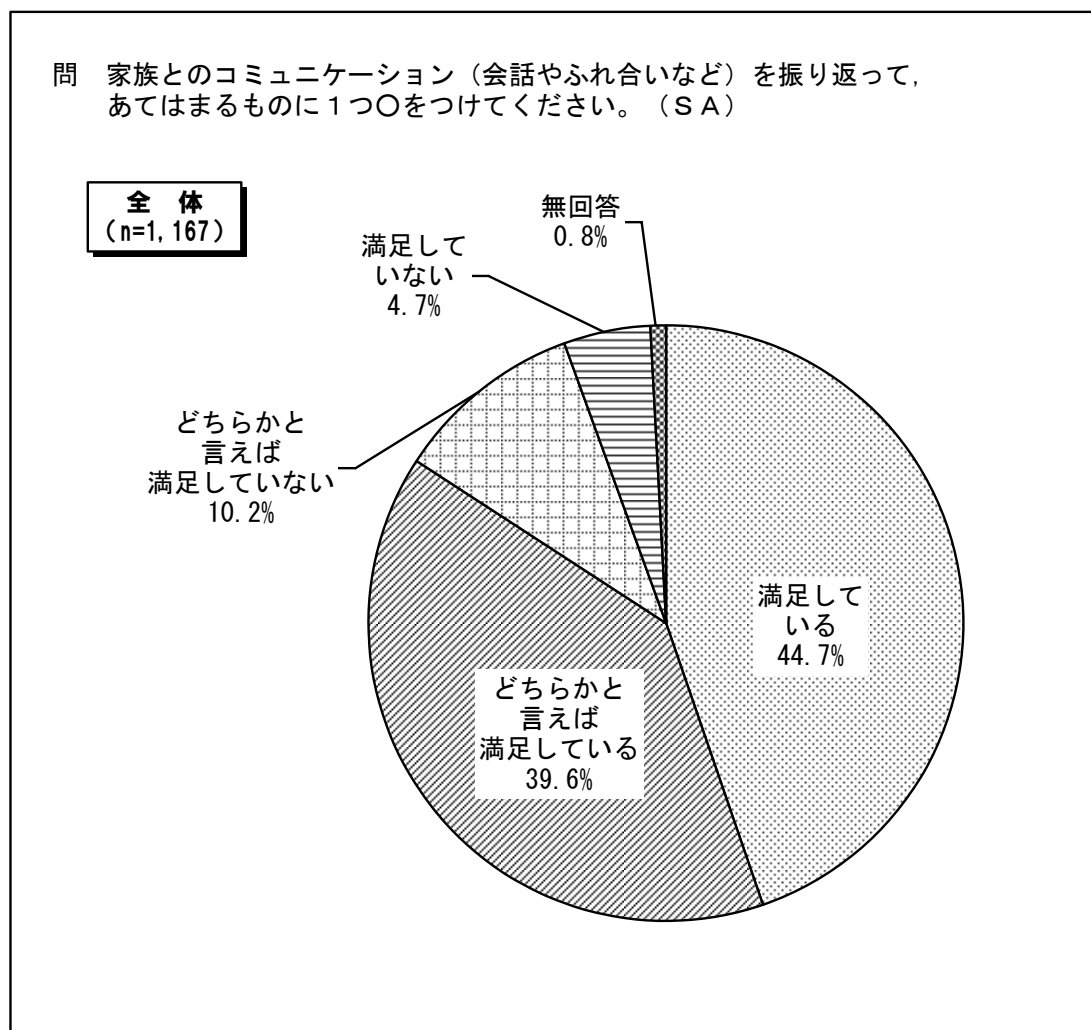
【全体結果の要約】

「大切に育てられてきたと感じる」が最も多く、約7割（69.2%）を占めている。次いで、「どちらかと言えば大切に育てられてきたと感じる」が3割弱（26.2%）と、「大切に育てられてきたと感じる」と「どちらかと言えば大切に育てられてきたと感じる」を合わせた『大切に育てられてきたと感じる』が95.4%と、大勢を占めている。

これに対し、「どちらかと言えば大切に育てられてきたと感じない」と「大切に育てられてきたと感じない」を合わせた『大切に育てられてきたと感じない』は、わずか3.5%である。

② 家族とのコミュニケーション

問 家族とのコミュニケーション（会話やふれ合いなど）を振り返って、
あてはまるものに1つ○をつけてください。（SA）



8割強が家族とのコミュニケーションに『満足している』。

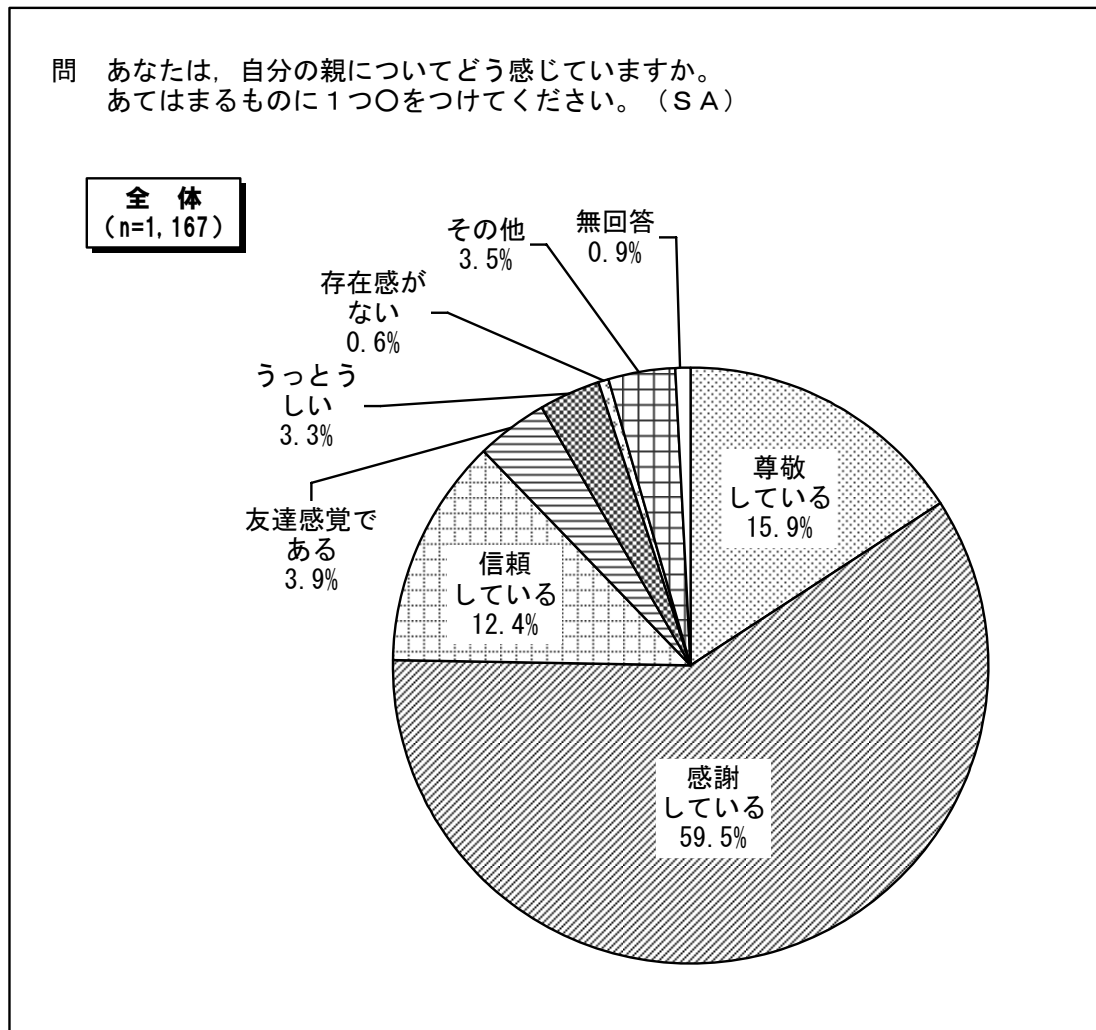
【全体結果の要約】

「満足している」が4割強（44.7%）で最も多く、次いで「どちらかと言えば満足している」が約4割（39.6%）となっており、この2つを合わせた『満足している』は8割強（84.3%）を占めている。

一方、「どちらかと言えば満足していない」と「満足していない」を合わせた『満足していない』は1割強（14.9%）と、概ね10人に1人が家族とのコミュニケーションに何らかの不満を持っている。

③ 親について

問 あなたは、自分の親についてどう感じていますか。
あてはまるものに1つ○をつけてください。(SA)



約6割が自分の親に「感謝している」。

【全体結果の要約】

「感謝している」が最も多く、約6割(59.5%)を占めている。以下、「尊敬している」が2割弱(15.9%)、「信頼している」が1割強(12.4%)の順で続く。

「尊敬している」、「感謝している」、「信頼している」、「友達感覚である」を合わせた『肯定的感想』が9割強(91.7%)と、大勢を占めている。一方、「うっとうしい」と「存在感がない」を合わせた『否定的感想』は3.9%と1割に満たなかった。

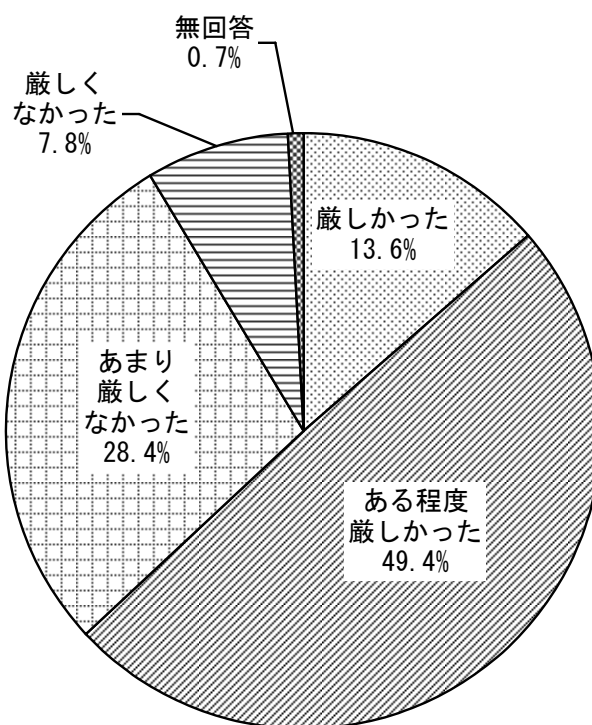
その他は、「(「感謝はしているが、鬱陶しい」など) 良いところも悪いところもある」(5名)、「何も感じない」「好きじゃない」(各4名)、「尊敬できない」(3名)などが寄せられている。

(2) しつけについて

① 自分が受けた家庭でのしつけ

問 あなたの家庭のしつけについてお聞きします。
あてはまるものに1つずつ○をつけてください。(SA)
(1) あなたの受けた家庭のしつけについて

全体
(n=1,167)



約5割が受けた家庭のしつけを「ある程度厳しかった」と感じている。

【全体結果の要約】

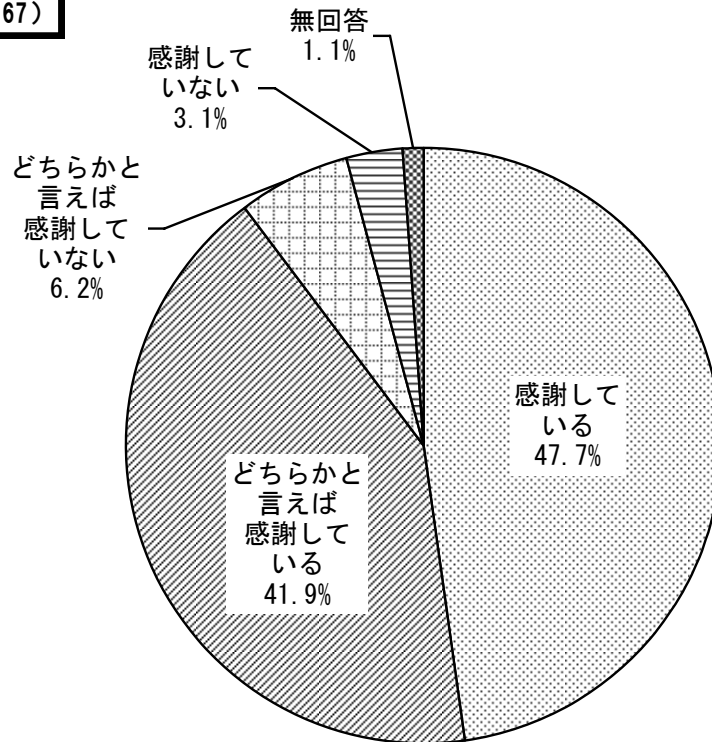
「ある程度厳しかった」が最も多く、約5割(49.4%)を占めている。次いで、「あまり厳しくなかった」が3割弱(28.4%)となっている。

「厳しかった」と「ある程度厳しかった」を合わせた『厳しかった』は6割強(63.0%)で、「あまり厳しくなかった」と「厳しくなかった」を合わせた『厳しくなかった』の4割弱(36.2%)を上回っている。

② 受けたしつけに対する受け止め方

問 あなたの家庭のしつけについてお聞きします。
あてはまるものに1つずつ○をつけてください。(SA)
(2) あなたはしつけをどう受け止めていますか。

全 体
(n=1,167)



約 9 割が受けた家庭のしつけに『感謝している』。

【全体結果の要約】

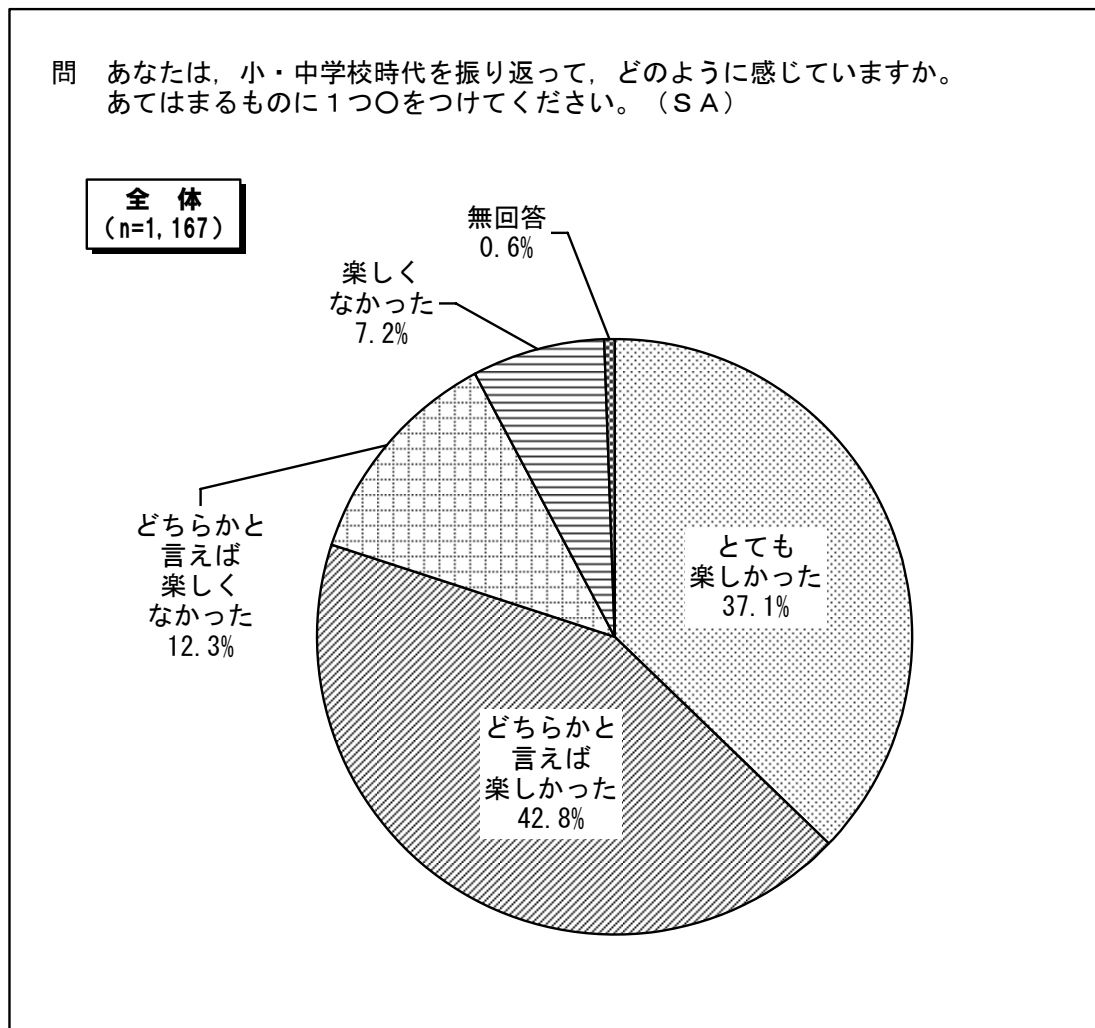
「感謝している」が最も多く、5割弱（47.7%）を占めている。次いで、「どちらかと言えば感謝している」が4割強（41.9%）となっている。

「感謝している」と「どちらかと言えば感謝している」を合わせた『感謝している』が、約 9割（89.6%）と大勢を占めている。

3. 学校や職業のことについて

(1) 学校や学習について

① 小・中学校時代を振り返った感想



約8割が小・中学校時代を振り返って『楽しかった』。

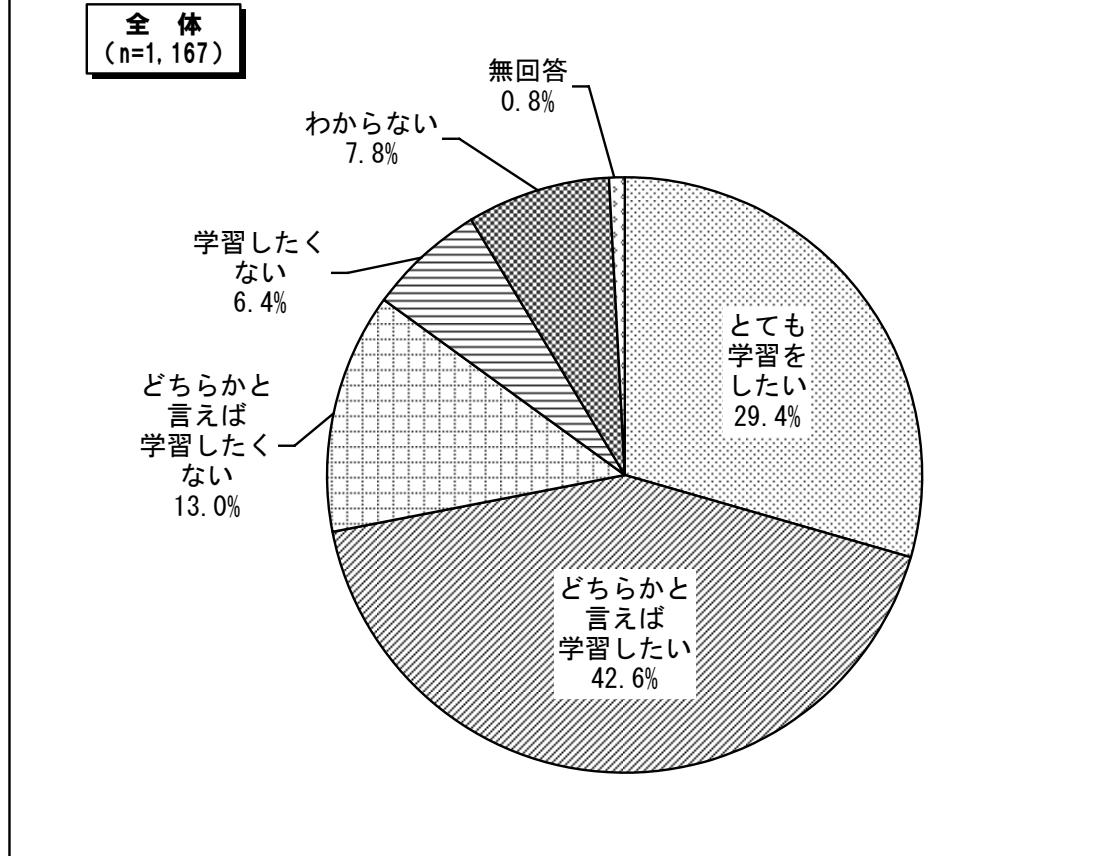
【全体結果の要約】

「どちらかと言えば楽しかった」が最も多く、4割強（42.8%）を占めている。「とても楽しかった」が4割弱（37.1%）で続き、「とても楽しかった」と「どちらかと言えば楽しかった」を合わせた『楽しかった』が、約8割（79.9%）を占めている。

一方、「どちらかと言えば楽しくなかった」と「楽しくなかった」を合わせた『楽しくなかった』は約2割（19.5%）で、概ね5人に1人は『楽しくなかった』と回答している。

② 卒業後の学習意欲

問 あなたは学校を卒業した後も、何かを学習したいですか。
あてはまるものに1つ○をつけてください。(SA)



4割強が学校を卒業した後も何かを「どちらかと言えば学習したい」。

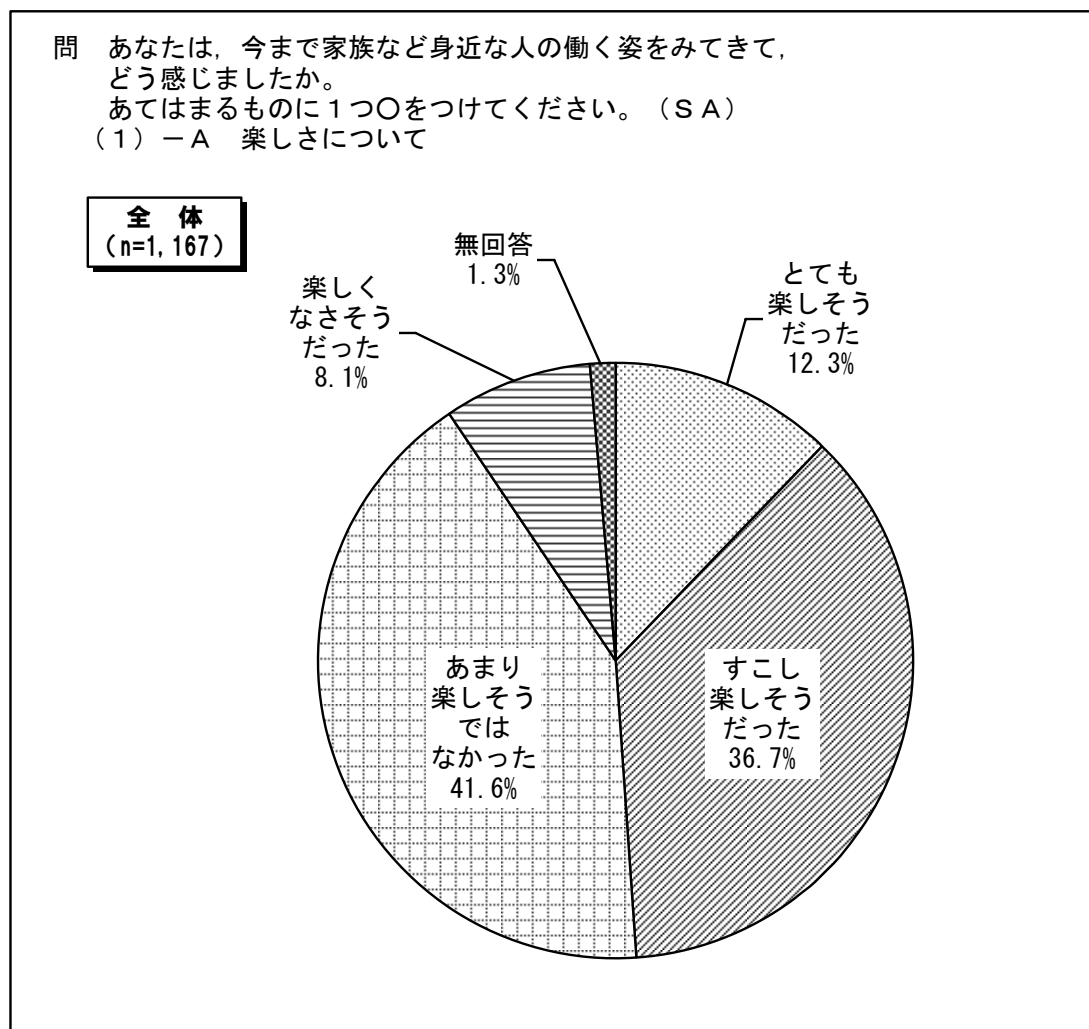
【全体結果の要約】

「どちらかと言えば学習したい」が最も多く、4割強（42.6%）を占めている。次いで、「とても学習をしたい」が約3割（29.4%）となっており、「とても学習したい」と「どちらかと言えば学習したい」を合わせた『学習したい』は、7割強（72.0%）を占めている。

(2) 働くことについて

①-1 家族や身近な人の働く姿をみてきた感想（楽しさについて）

問 あなたは、今まで家族など身近な人の働く姿をみてきて、
どう感じましたか。
あてはまるものに1つ○をつけてください。（SA）
(1) - A 楽しさについて



家族や身近な人の働く姿をみてきて『楽しそうだった』と『楽しそうではなかった』がほぼ半々。

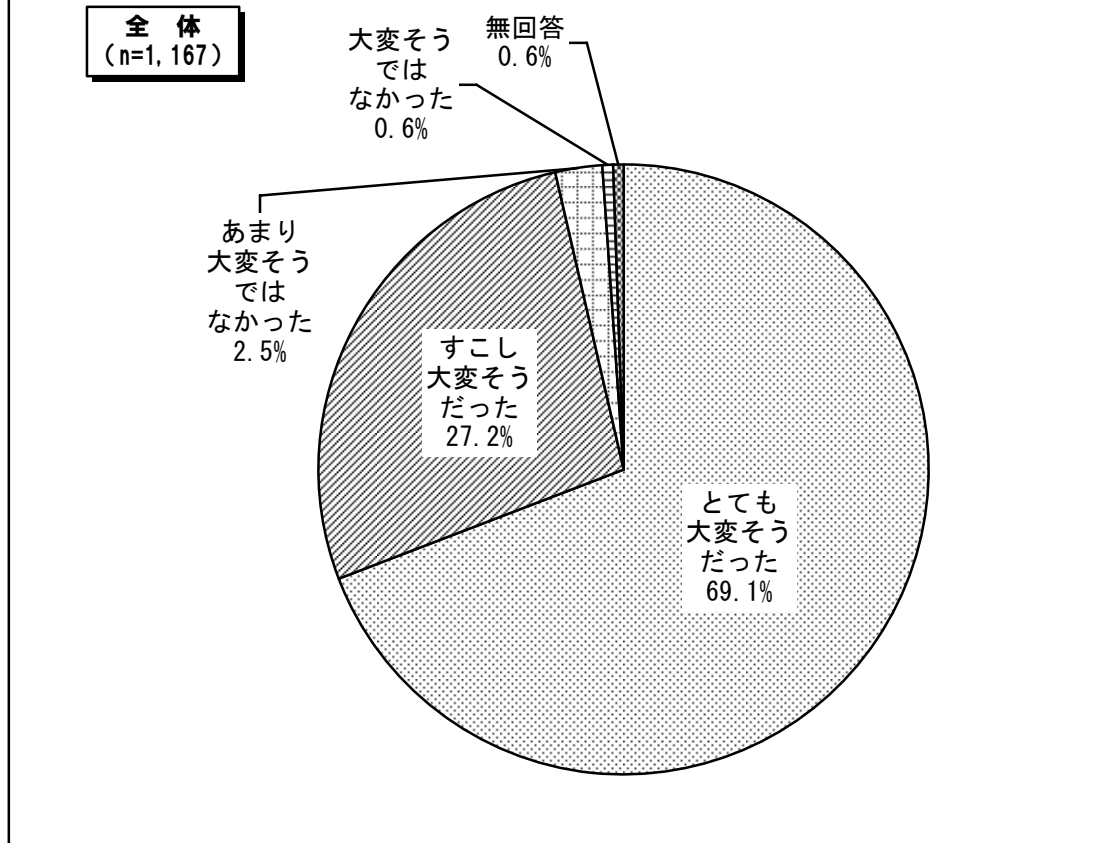
【全体結果の要約】

「あまり楽しそうではなかった」が最も多く、4割強（41.6%）を占めている。以下、「すこし楽しそうだった」（36.7%）、「とても楽しそうだった」（12.3%）の順で続く。

「とても楽しそうだった」と「すこし楽しそうだった」を合わせた『楽しそうだった』は約5割（49.0%）、「あまり楽しそうではなかった」と「楽しくなさそうだった」を合わせた『楽しそうではなかった』も約5割（49.7%）と、ほぼ半々になっている。

①-2 家族や身近な人の働く姿をみてきた感想（大変さについて）

問 あなたは、今まで家族など身近な人の働く姿をみてきて、
どう感じましたか。
あてはまるものに1つ○をつけてください。（SA）
（1）-B 大変さについて



約7割が家族や身近な人の働く姿をみてきて「とても大変そうだった」と感じている。

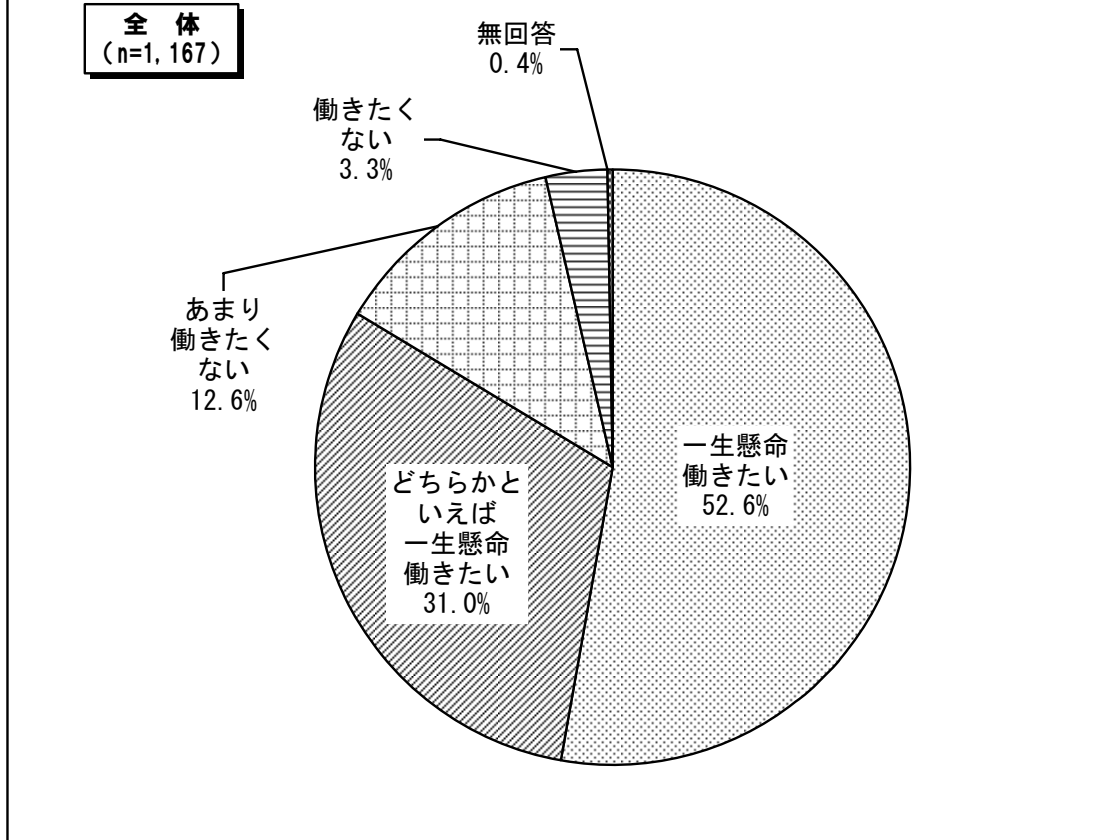
【全体結果の要約】

「とても大変そうだった」が最も多く、約7割（69.1%）を占めている。次いで「すこし大変そうだった」が3割弱（27.2%）である。この2つを合わせた『大変そうだった』は96.3%と、ほぼ全員が『大変そうだった』と感じている。

「あまり大変そうではなかった」と「大変そうではなかった」を合わせた『大変そうではなかった』は3.1%と、非常に稀である。

①-3 働くことについての意欲

問 あなたは、今まで家族など身近な人の働く姿をみてきて、
どう感じましたか。
あてはまるものに1つ○をつけてください。(SA)
(2) あなた自身が働くことについて



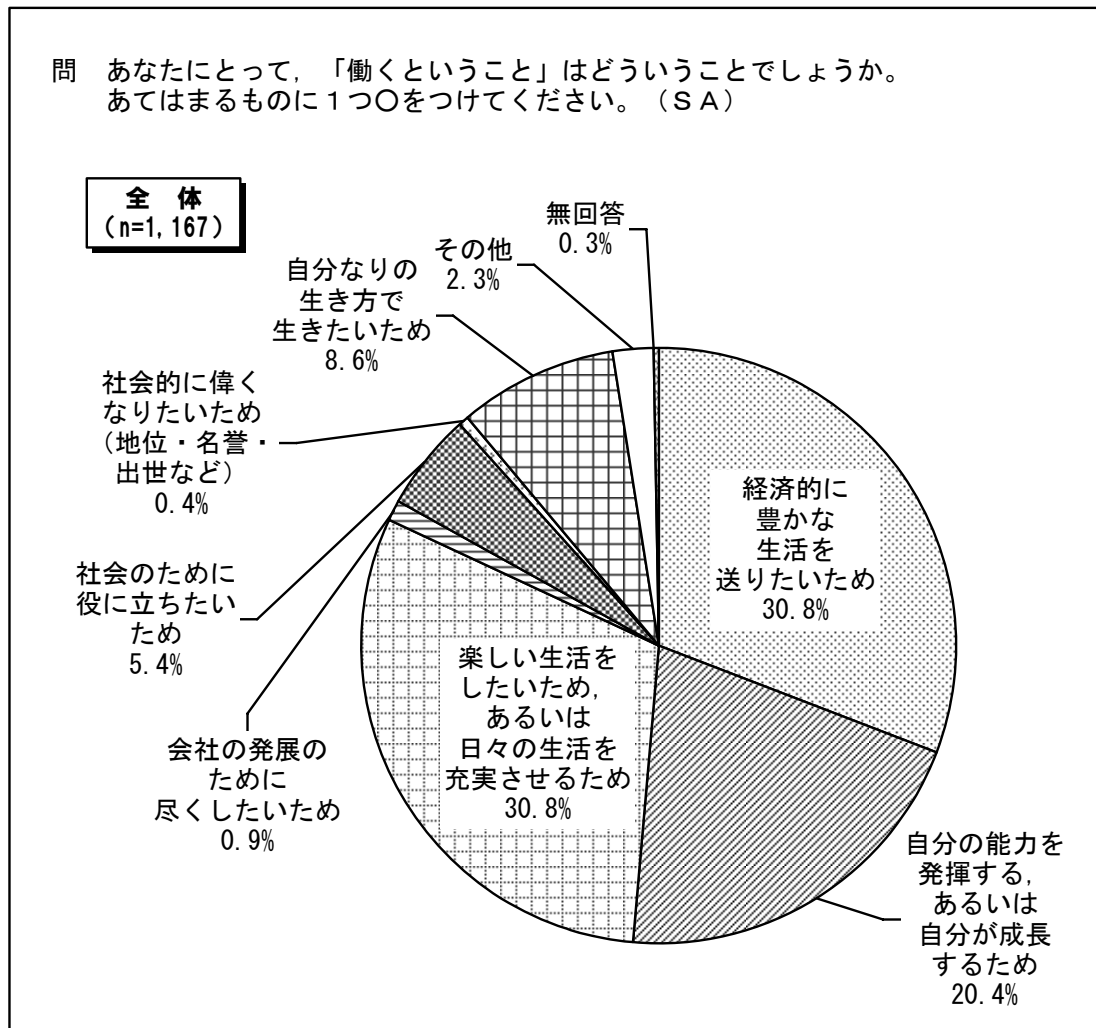
5割強が自分自身「一生懸命働きたい」と感じている。

【全体結果の要約】

「一生懸命働きたい」が最も多く、5割強（52.6%）を占めている。次いで「どちらかといえば一生懸命働きたい」が3割強（31.0%）と、この2つを合わせた『一生懸命働きたい』は8割強（83.6%）と、大勢を占めている。

一方、「あまり働きたくない」と「働きたくない」を合わせた『働きたくない』は、2割弱（15.9%）を占めている。

② 働くことの目的



働くことの目的は「楽しい生活をしたいため、あるいは日々の生活を充実させるため」と「経済的に豊かな生活を送りたいため」がそれぞれ約3割。

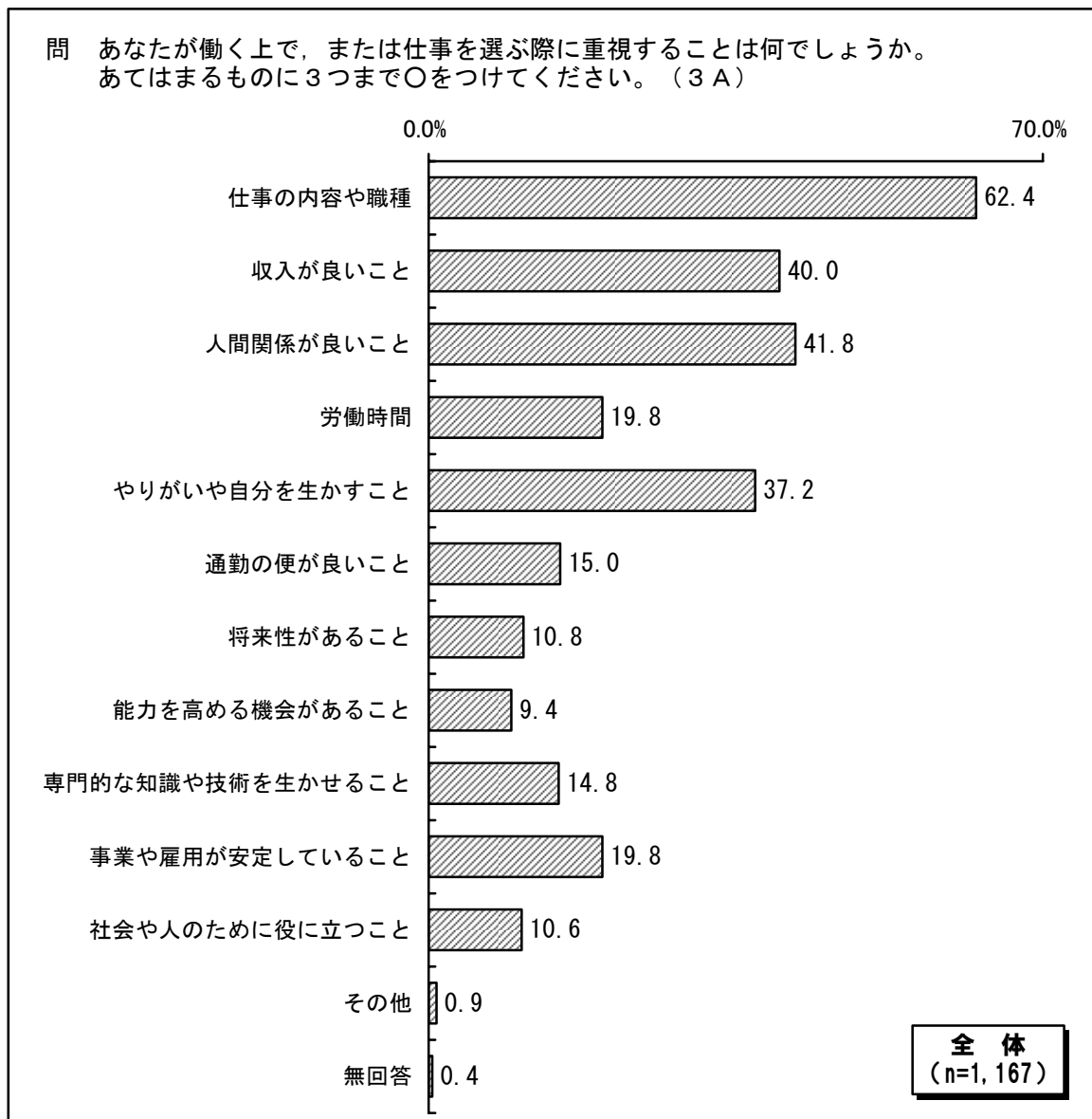
【全体結果の要約】

「楽しい生活をしたいため、あるいは日々の生活を充実させるため」と「経済的に豊かな生活を送りたいため」が並び、それぞれ約3割(30.8%)を占めている。次いで「自分の能力を発揮する、あるいは自分が成長するため」(20.4%)と、これら3つに回答が集中している。以下、「自分なりの生き方で生きたいため」(8.6%)、「社会のために役に立ちたいため」(5.4%)の順で続く。

最も少ないのは「社会的に偉くなりたいため(地位・名誉・出世など)」(0.4%)で、次いで「会社の発展のために尽くしたいため」(0.9%)と、この2つは1%に満たない。

その他は、「生活のため」(11名)などが寄せられている。

③ 働く上で、または仕事選択で重視すること



6割強が、自分が働く上でまたは仕事を選ぶ際に「仕事の内容や職種」を重視している。

【全体結果の要約】

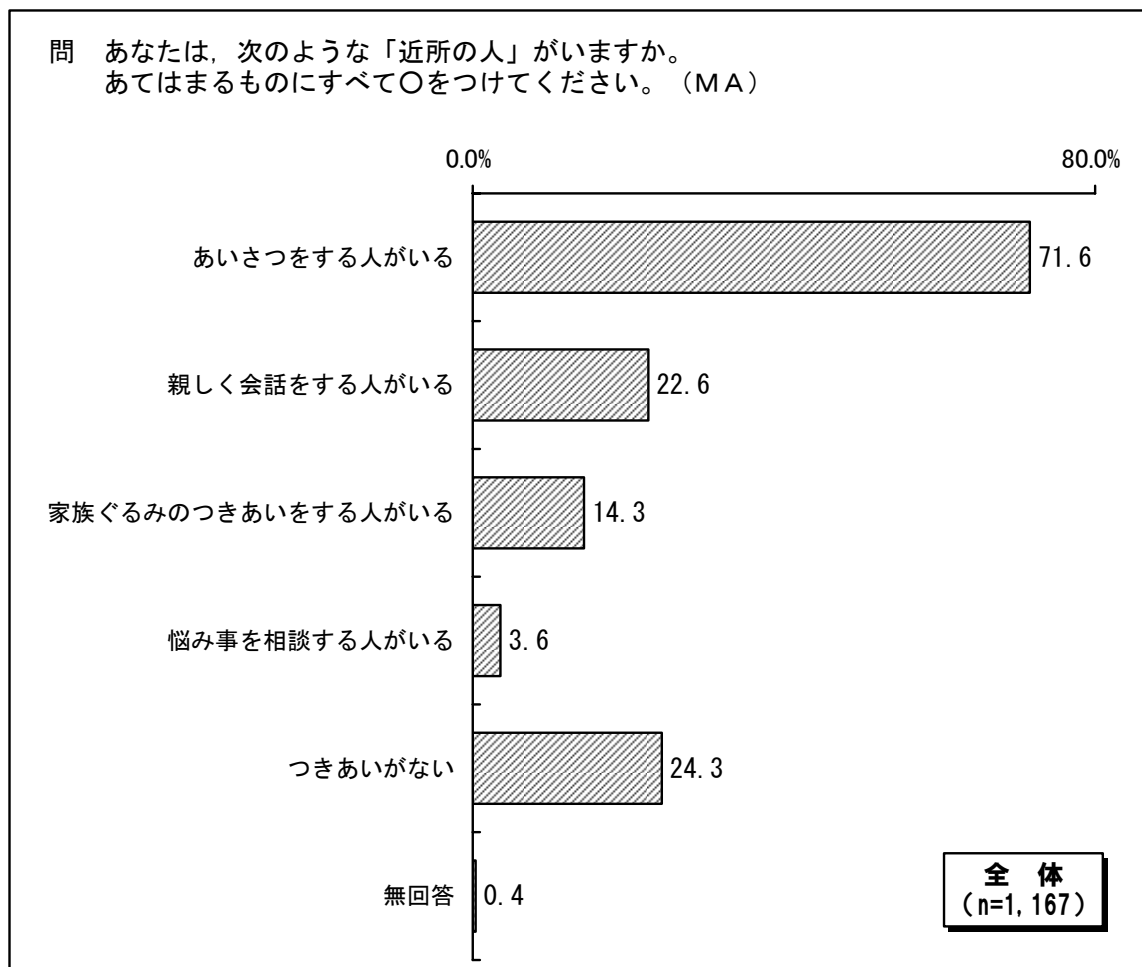
「仕事の内容や職種」が最も多く、6割強(62.4%)を占めており、他の選択肢を引き離して多い。以下、「人間関係が良いこと」(41.8%)、「収入が良いこと」(40.0%)の順で、回答率4割台となっている。回答率3割台は「やりがいや自分を生かすこと」(37.2%)のみで、回答率2割台の選択肢はない。

最も少ないのは「能力を高める機会があること」(9.4%)で、唯一1割に満たない。

その他は、「子どもの関係での急な休みなどに対応・理解があるか」(3名)などが寄せられている。

4. 地域社会との関わりについて

(1) 近所づきあいについて



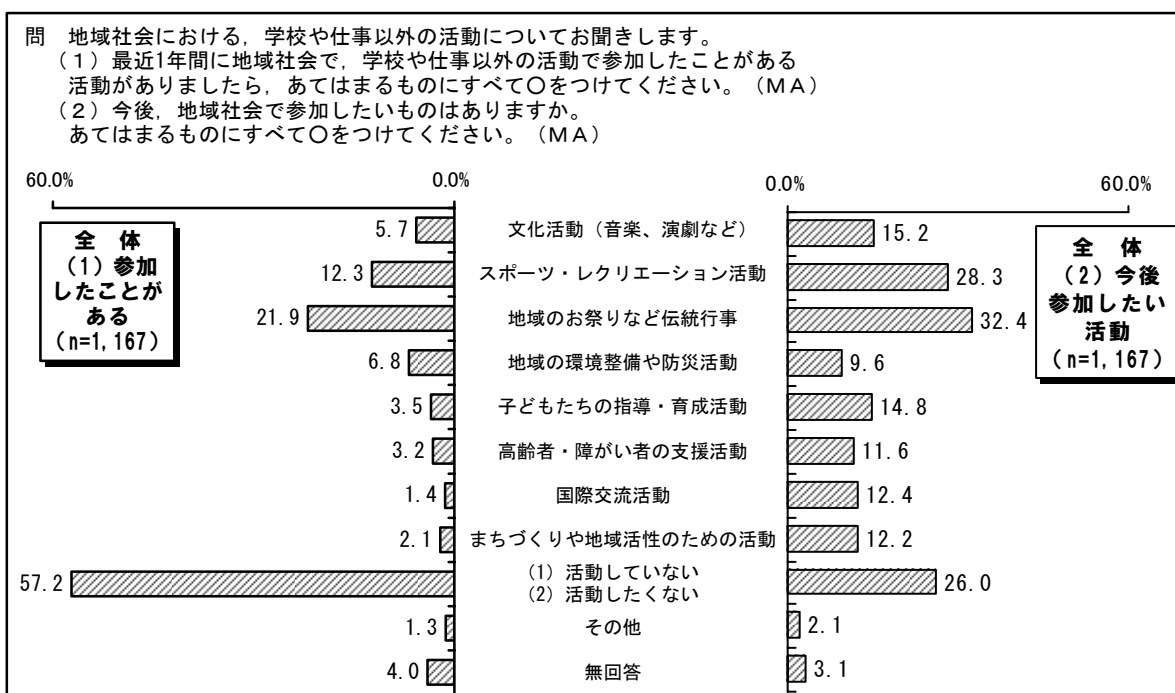
7割強が「あいさつをする近所の人がある」。

【全体結果の要約】

「あいさつをする人がある」が最も多く、7割強(71.6%)の人が回答した。以下、近所づきあいの内容で見ると、「親しく会話する人がある」(22.6%)、「家族ぐるみのつきあいをする人がある」(14.3%)、の順で続く。

一方、「つきあいがない」は24.3%と、概ね4人に1人が近所の人とつきあいがないと回答している。

(2) 地域社会における、学校や仕事以外の活動について



6割弱が地域社会における学校や仕事以外の活動を「していない」。3割強が「地域のお祭りなど伝統行事」に今後参加したい。

【全体結果の要約】

まず最近1年間の参加状況を問うたところ、「活動していない」が最も多く、6割弱（57.2%）の人が回答している。

活動の中で最も参加が多いのは「地域のお祭りなど伝統行事」（21.9%）で、唯一回答率2割台である。回答率1割台は「スポーツ・レクリエーション活動」（12.3%）のみである。以下、「地域の環境整備や防災活動」（6.8%）、「文化活動（音楽、演劇など）」（5.7%）の順で続く。

最も少ないのは「国際交流活動」（1.4%）で、次いで「まちづくりや地域活性のための活動」（2.1%）とこの2つは3%に満たず、参加率が特に低い。

その他は、「ボランティア活動」（2名）などが寄せられている。

次いで参加したい活動を問うたところ、「地域のお祭りなど伝統行事」が最も多く、3割強（32.4%）の人が回答している。活動の中で回答率2割台は、「スポーツ・レクリエーション活動」（28.3%）のみである。回答率1割台は、「文化活動（音楽、演劇など）」（15.2%）、「子どもたちの指導・育成活動」（14.8%）、「まちづくりや地域活性のための活動」（12.2%）、「高齢者・障がい者の支援活動」（11.6%）の順で続く。

最も少ないのは「地域の環境整備や防災活動」（9.6%）で、唯一1割に満たない。

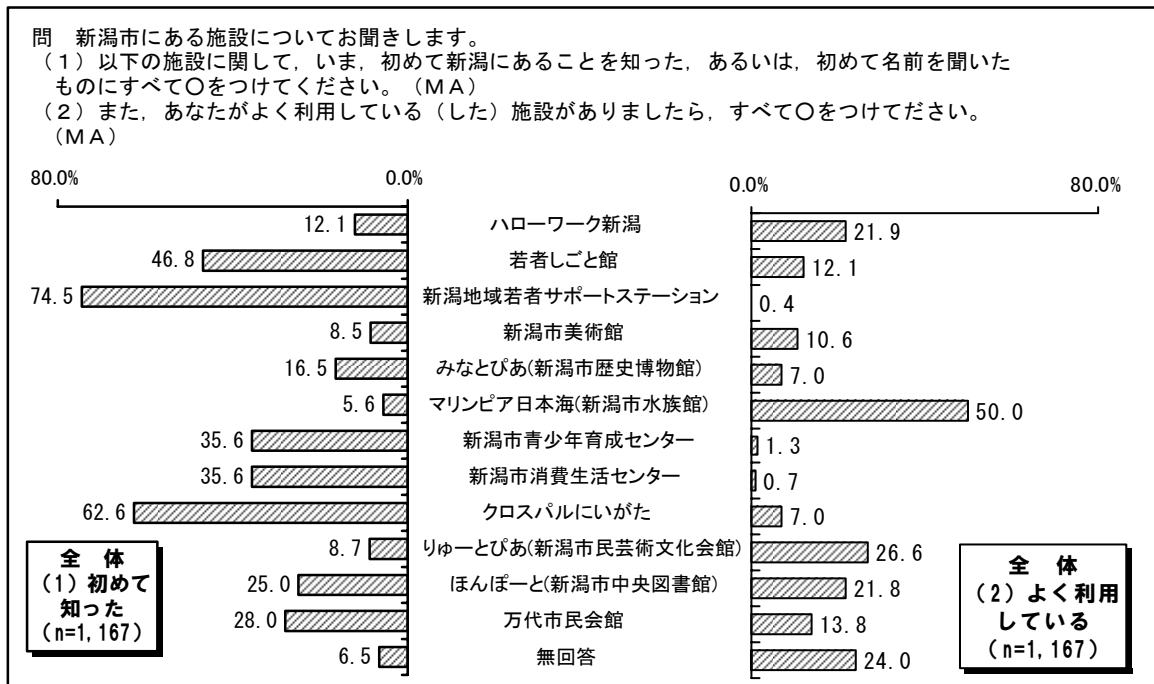
一方、「活動したくない」が26.0%と、概ね4人に1人が「活動したくない」と回答している。しかし、最近1年間「活動していない」（57.2%）との差が30ポイント以上あることから、今のところ活動していないが活動に参加する意欲はある人は多く存在していることが伺える。

その他は「活動したくても時間がとれない」（4名）、「活動したくない訳ではないが、今のところ考えていない」（3名）、ボランティア活動（2名）などが寄せられている。

5. その他

(1) 新潟市における施設について

① 現存施設の認知状況と利用状況



最も知られていない施設は「新潟地域若者サポートステーション」で7割強。最も利用がある施設は「マリンピア日本海（新潟市水族館）」で5割。

【全体結果の要約】

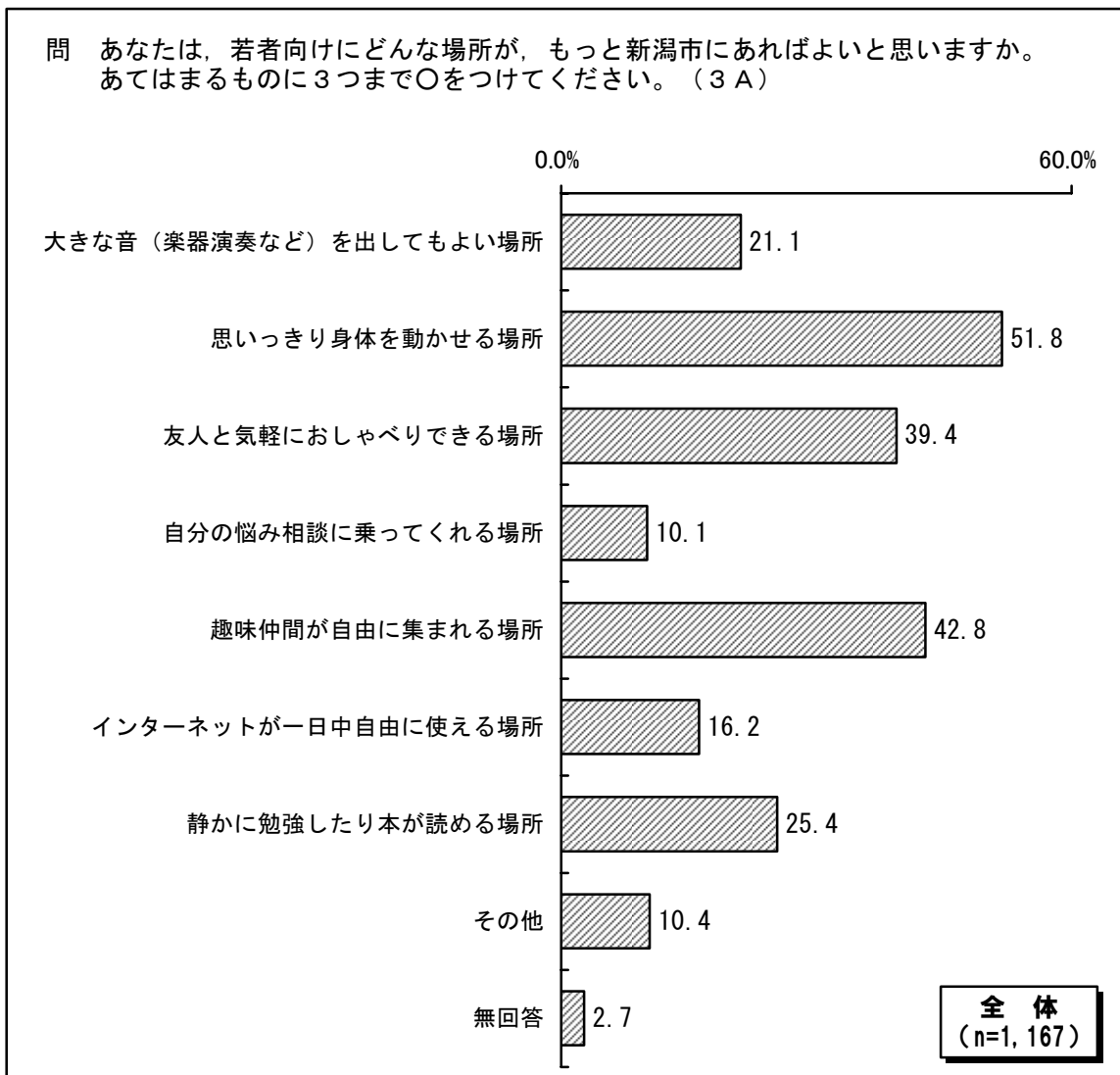
まず、初めて知った（または名前を聞いた）施設名を問うたところ、「新潟地域若者サポートステーション」が最も多く、7割強（74.5%）の人が回答している。次いで「クロスパルにいがた」が6割強（62.6%）と、この2施設を6割以上の人が回答しており、特に認知度が低いと言える。以下、回答率4割台が「若者しごと館」（46.8%）、回答率3割台が「新潟市青少年育成センター」および「新潟市消費生活センター」（ともに35.6%）、回答率2割台が「万代市民会館」（28.0%）、「ほんぽーと（新潟市中央図書館）」（25.0%）と続く。

一方、最も少ないのは「マリンピア日本海（新潟市水族館）」（5.6%）で、次いで「新潟市美術館」（8.5%）、「りゅーとぴあ（新潟市民芸術文化会館）」（8.7%）と、この3施設は回答率が1割に満たず、認知度が高いと言える。

次いで、よく利用している（した）施設名を問うたところ、「マリンピア日本海（新潟市水族館）」が5割（50.0%）で最も多く、かつ他の選択肢を引き離して多い。次いで、回答率2割台が「りゅーとぴあ（新潟市民芸術文化会館）」（26.6%）、「ハローワーク新潟」（21.9%）、「ほんぽーと（新潟市中央図書館）」（21.8%）である。回答率1割台が「万代市民会館」（13.8%）、「若者しごと館」（12.1%）、「新潟市美術館」（10.6%）の順で続く。

一方、最も少ないのは「新潟地域若者サポートステーション」（0.4%）で、次いで「新潟市消費生活センター」（0.7%）、「新潟市青少年育成センター」（1.3%）と、この3施設の利用率は極めて低い。

② 新潟市に望む若者向けの場所について



5割強が「思いっきり身体を動かせる場所」がもっと新潟市にあればよいと思っている。

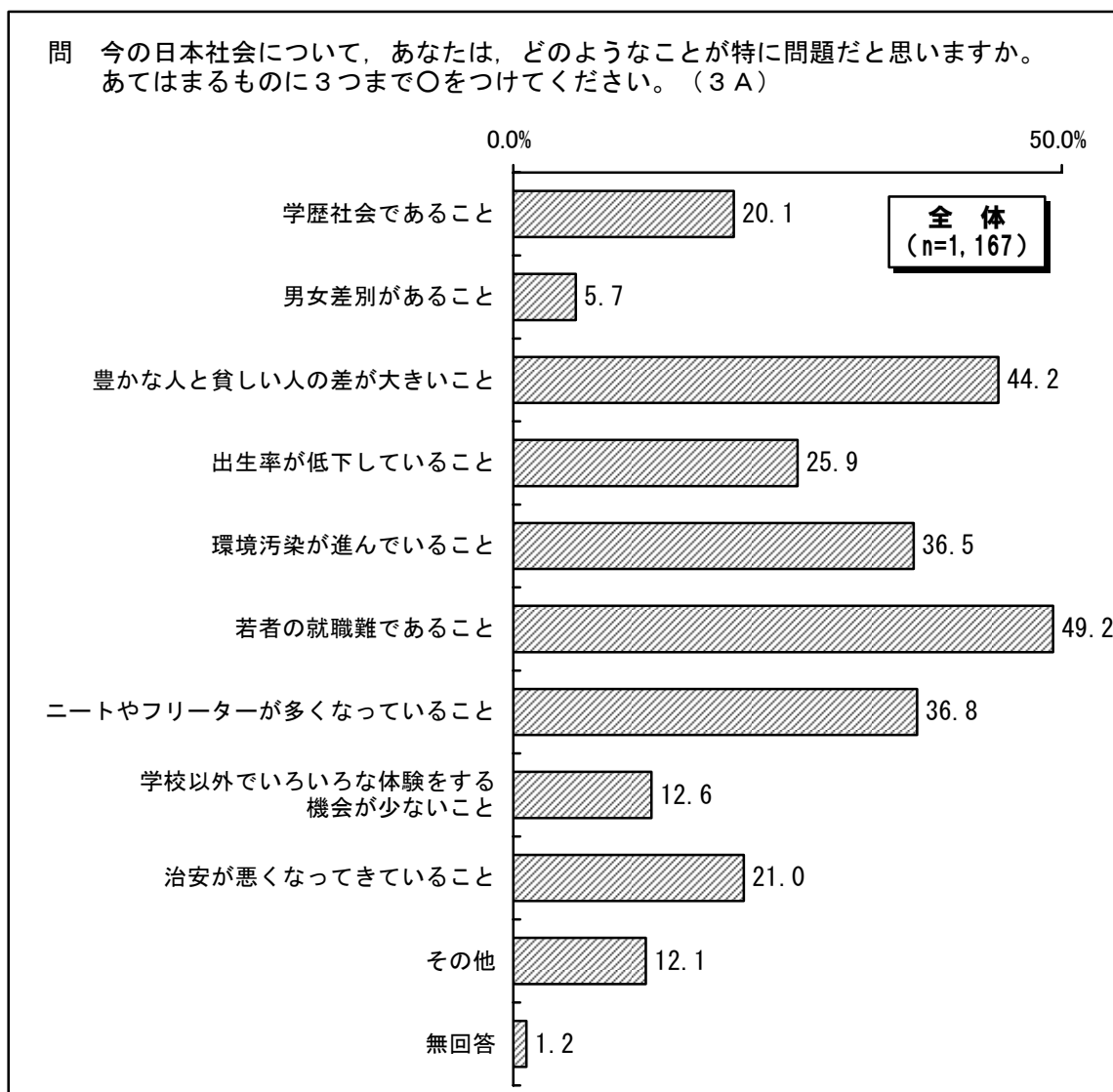
【全体結果の要約】

「思いっきり身体を動かせる場所」が最も多く、5割強（51.8%）の人が回答している。以下、回答率4割台が「趣味仲間が自由に集まれる場所」（42.8%）、回答率3割台が「友人と気軽におしゃべりできる場所」（39.4%）、回答率2割台が「静かに勉強したり本が読める場所」（25.4%）、「大きな音（楽器演奏など）を出してもよい場所」（21.1%）の順で続く。

最も少ないのは「自分の悩み相談に乗ってくれる場所」（10.1%）だが、概ね10人に1人が「あればよい」と回答している。

その他は、「（お店やアウトレットモールなど）商業施設」（17名）、「（遊園地など）レジャー施設」（14名）、「運動施設」「動物園」「公園」（各8名）、「子連れで遊べる、または行ける場所」（7名）などが寄せられている。

(2) 今の日本社会で特に問題だと思うこと



約5割が今の日本社会について「若者の就職難であること」を特に問題だと思っている。

【全体結果の要約】

「若者の就職難であること」が最も多く、約5割(49.2%)の人が回答している。以下、回答率4割台が「豊かな人と貧しい人の差が大きいこと」(44.2%)、回答率3割台が「ニートやフリーターが多くなっていること」(36.8%)、「環境汚染が進んでいること」(36.5%)、回答率2割台が「出生率が低下していること」(25.9%)、「治安が悪くなってきていること」(21.0%)、「学歴社会であること」(20.1%)の順で続く。「若者の就職難であること」や「ニートやフリーターが多くなっていること」など、『就職に関連した事項』を特に問題と感じている傾向が強い。

最も少ないのは「男女差別があること」(5.7%)で、唯一1割に満たない。

その他は、「政治」(40名)、「教育・子育て」(9名)、「高齢化社会」(8名)、「(賃金や環境など)労働全般」(7名)、「(不景気など)経済状況」(6名)などが寄せられている。

6. 自由記述（概略）

「若者に関する施策について、新潟市に望むこと」を問うたところ、371名より意見が寄せられている。

特に多く寄せられた要望として、まず、『公共施設に関すること』を71名、僅差で『雇用・就労に関すること』を69名が挙げている。次いで、『学校教育に関すること』を36名、『子育てに関すること』を25名、『交通網・交通機関に関すること』および『商業施設や観光施設に関すること』をそれぞれ24名が挙げている。

具体的な内容については、『公共施設に関すること』は、「図書館や体育館やハローワークなど、施設の増設」「駅などの公共交通機関の近隣に、公共施設の設置」「公共施設が月曜日休みなので時々開けてほしいなど、開館日や開館時間に関すること」「公共施設での駐車場拡大や無料化など、駐車場に関すること」などが挙げられている。

『雇用・就労に関すること』は、「雇用の確保、または拡大」「(県を出た学生も含め)地元の就職情報提供の充実」「労働条件の改善」などが挙げられている。

『学校教育に関すること』では、「中・高校生での職業体験など、将来の事に関する学習機会の設置」「奨学金や補助金などの支援」などが挙げられている。

『子育てに関すること』は、「保育園の増設」「出産・教育に関する金銭的支援」「出産・育児後の就職支援」などが挙げられている。

『交通網・交通機関に関すること』は、「電車やバスなどの交通網整備」「電車やバスなどの本数増加」「車中心の交通整備の見直し」などが挙げられている。

『商業施設や観光施設に関すること』は、「アウトレットなどの商業エリアの充実(それによる街の活性化)」「若者が遊んで楽しいと思える場所の増設」「新潟をアピールするためにも、新潟ならではの観光スポットの増設」などが挙げられている。

Ⅲ 調査結果の考察

若者の「自立」をキーワードに、次の4つの方向からの考察を行う。

視点① 若者の意識と自立

視点② 家庭生活と自立

視点③ 学校生活と自立

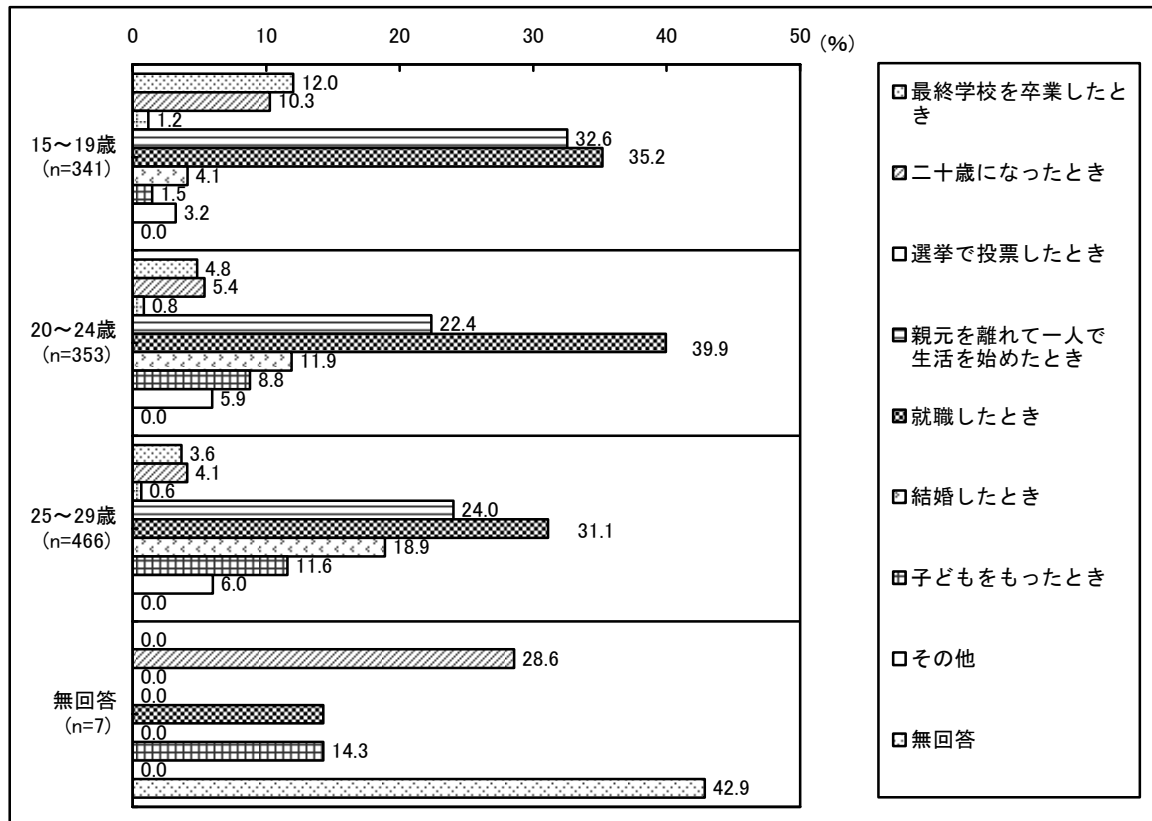
視点④ 若者の悩みと自立

*詳細は次頁から

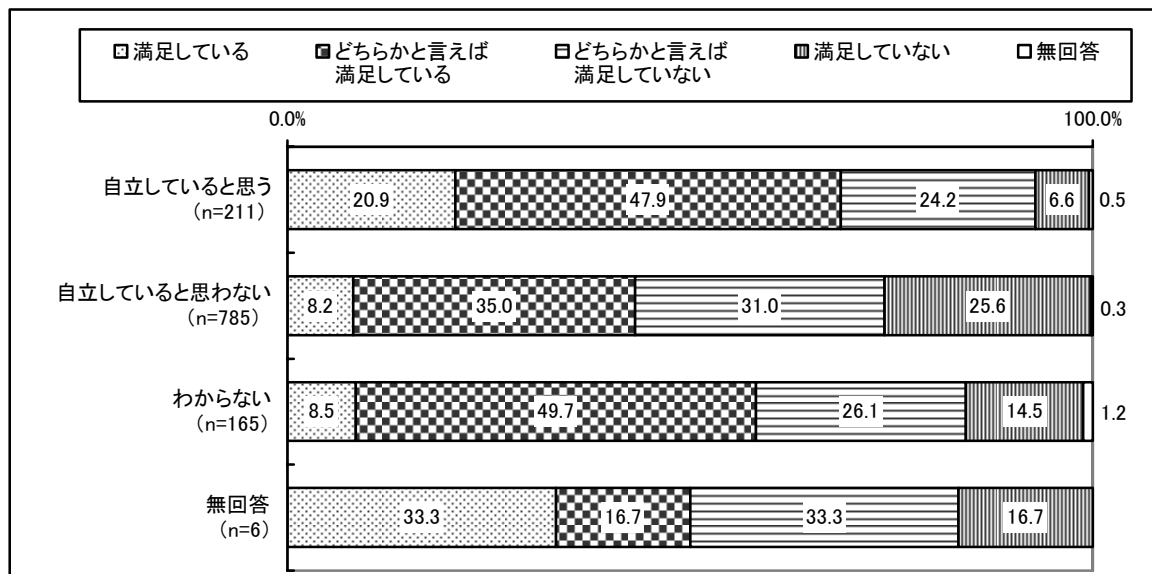
視点① 若者の意識と自立

若者が実際に自立（あなたは、自分が「自立して大人になる」と自覚する）を受け止めるのはいつか。さらに、その自立の受け止めと、「本人の自己満足度（あなたは、いまの自分に満足していますか）」との関連性で見えてくるものは何か。

ア「自立（あなたは、自分が「自立して大人になる」と自覚する）」の受け止め



イ「本人の自己満足度（あなたは、いまの自分に満足していますか）」との関連



左の表アで、「自分が「自立して大人になる」と自覚する」のは、「最終学校を卒業したとき」及び「二十歳になったとき」という選択が多いのは、二十歳未満であり、実際にその段階を過ぎてみると回答が半減している。

一方で、「就職したとき」はどの年代でも多い上に、年齢層が上がれば高まるため、代表的な回答である。

ただし、下表のように、実際に働いている率から見れば、むしろ選択率は下がっており、これは「結婚したとき」も同様である。

すなわち、いずれの選択肢も、自分が未経験の場合には、そのときが来れば「自立して大人になる」と思っているが、いざそのときを過ぎて、自立できたと思えないと考えられる。

下表について再度説明すると、10代後半の5.9%しか働いていない層では、「就職したとき」を35.2%が選んでいるのに、20代前半の58.1%が働いている層では、「就職したとき」を39.9%しか選んでおらず、さらに20代後半では80.0%が働いていて、31.1%（3割）しか「就職したとき」を選んでいない。

また婚者が多くなっても、それほど「結婚したとき」を選ぶ者は増えていない。

働く前や結婚する前は、そのときが来れば自立できると思っているが、そうなった時に自立を感じられなかった証左である。

「親元を離れて一人で生活を始めたとき」については、この経験がそもそも少ないため、憧れは強いままなのではないか。

◇表 自分が「自立して大人になる」と自覚するときは？

	「一人暮らし」している人	「親元を離れて一人で生活を始めたとき」と回答した割合	「就職」している人	「就職したとき」と回答した割合	「結婚」している人	「結婚したとき」と回答した割合
10代後半	5.0%	32.6%	5.9%	35.2%	0.0%	4.1%
20代前半	19.0%	22.4%	58.1%	39.9%	7.9%	11.9%
20代後半	12.9%	24.0%	80.0%	31.1%	33.0%	18.9%

《上記表の説明》

一人暮らし：「あなたは、現在誰と一緒に住んでいますか」（問4/6頁）で「一人暮らし」を選んだ割合であり、一人暮らし経験者はこれよりは多い。

就職：「あなたは、次のどれにあてはまりますか」（問5/7頁）の選択肢（正社員・正職員、派遣・契約社員、アルバイト・パート、自営・自由業）の合計。離職者等を考えると、就職経験者はこれより多い。

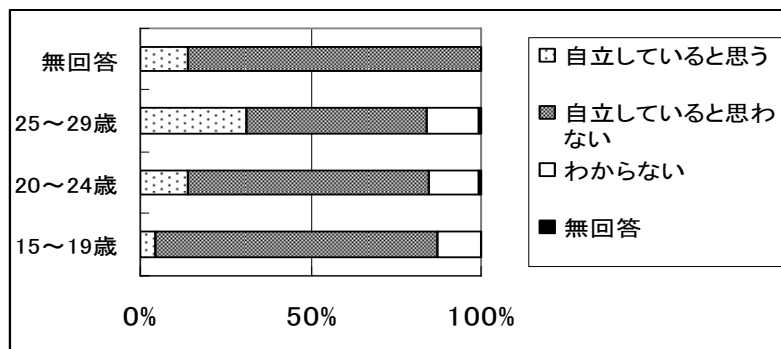
結婚：「あなたは、現在誰と一緒に住んでいますか」（問4/6頁）の同居人で配偶者を選んだ割合であり、既婚者はこれより多い。

40 頁の表イ「本人の自己満足度との関連」では、自立していると思う人でも 3 割はいまの自分に満足していない（「満足していない」6.6%+「どちらかと言えば満足していない」24.2%）。自立していると思わない人だとこれが 55.6%とかなり高くなるが、いずれにせよ、満足していないという回答は、向上心の現われの場合もあり、満足度が上がりさえすればよいというものでもない。

客観的にみて満足していると思われても、本人がまだまだ成長したいと強く思っていれば、いまの自分に満足することはなく、一定の「満足していない」という回答はむしろ望ましい。

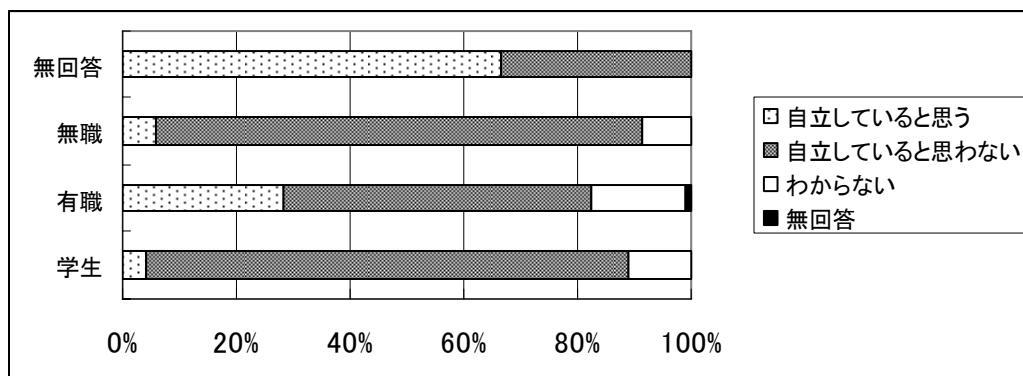
むしろ、自立していると思わない人で満足している 43.2%（「満足している」8.2%+「どちらかといえば満足している」35.0%）が本当にそれでよいのかと、問われなければならないだろう。

【参考 1-1】年齢層別に見たいまの自立の状況



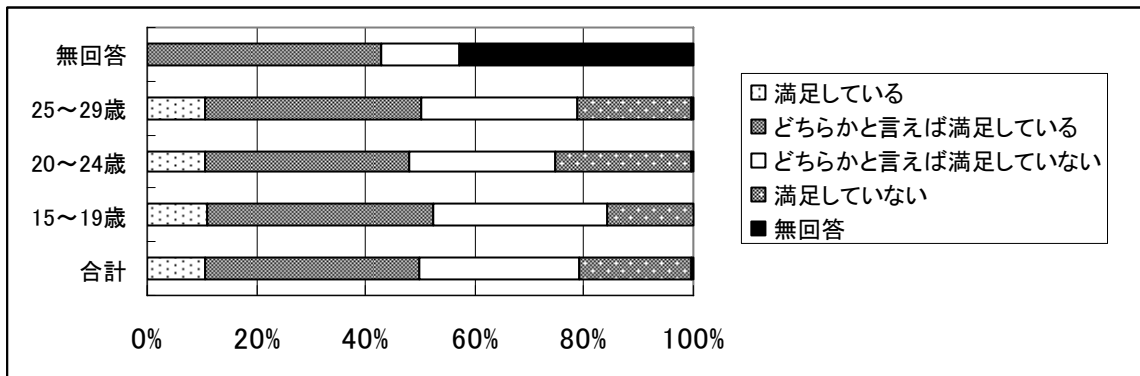
※全体結果（参照 12 頁「②自立の状況」）では、「自立していると思う」人の割合は 18.1%を占めた。さらに、上記年齢層別に見ると、年齢層が上がるに連れて「自立していると思う」人の割合が高くなっている。ただし、25~29歳で「自立していると思う」人の割合は 3割にとどまった。また、「わからない」人の割合は、各層とも同程度である。

【参考 1-2】学生・有職・無職別に見たいまの自立の状況



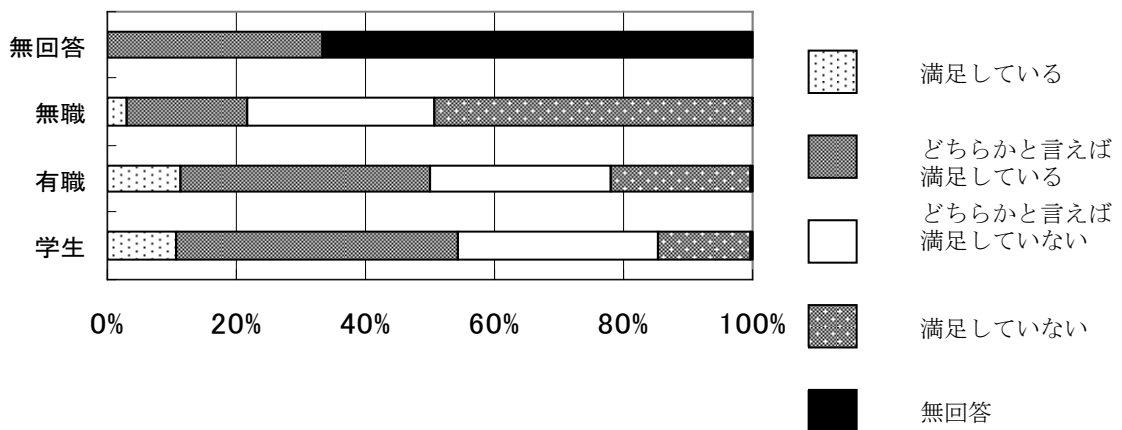
※学生（現在高校生～大学院生「7 頁参照」）と有職（正社員～その他「7 頁参照」）との自立の状況では、有職者により自立意識が高く約 3割に達しているのに対して、学生は 1割に満たなかった。学生のほとんど（8割超）は「自立していると思わない」と回答している。しかし、有職者の 6割近くでも「自立していると思わない」と回答している。

【参考 2-2】年齢層別に見たいまの自分への満足状況



※「満足している」から「満足していない」までの分布は、各層同程度の割合となっており、特定の年齢層だけに見られる特徴はなかった。全体結果は、10頁「②いまの自分への満足状況」を参照。

【参考 2-2】学生・有職・無職別に見たいまの自分への満足状況

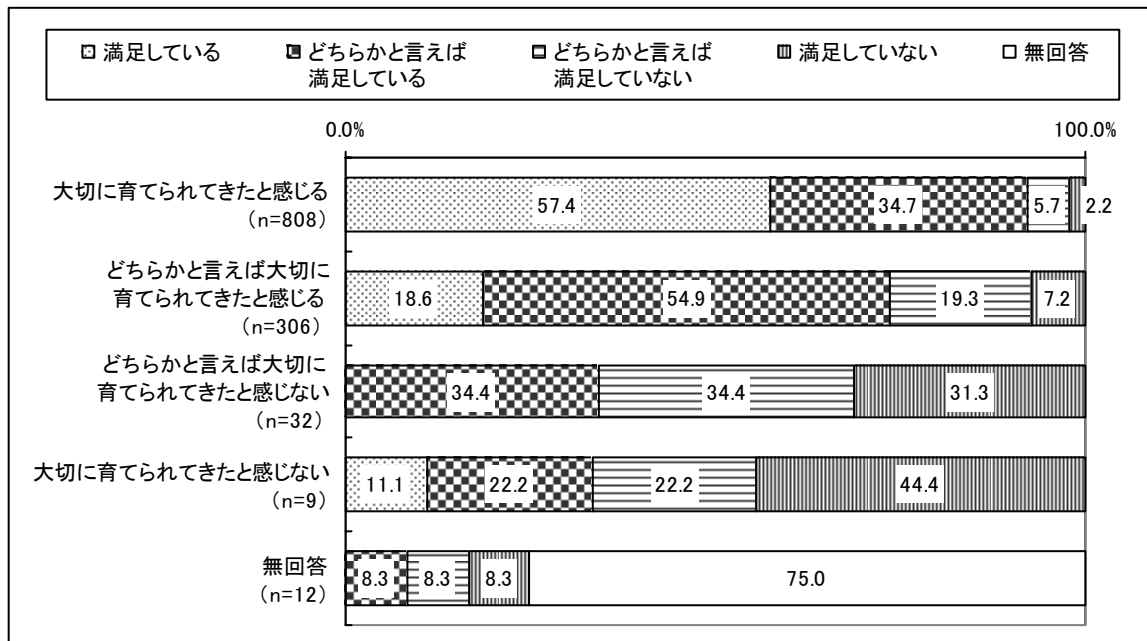


※学生（現在高校生～大学院生「7頁参照」）と有職（正社員～その他「7頁参照」）との満足状況には、大きな差異は見られなかった。

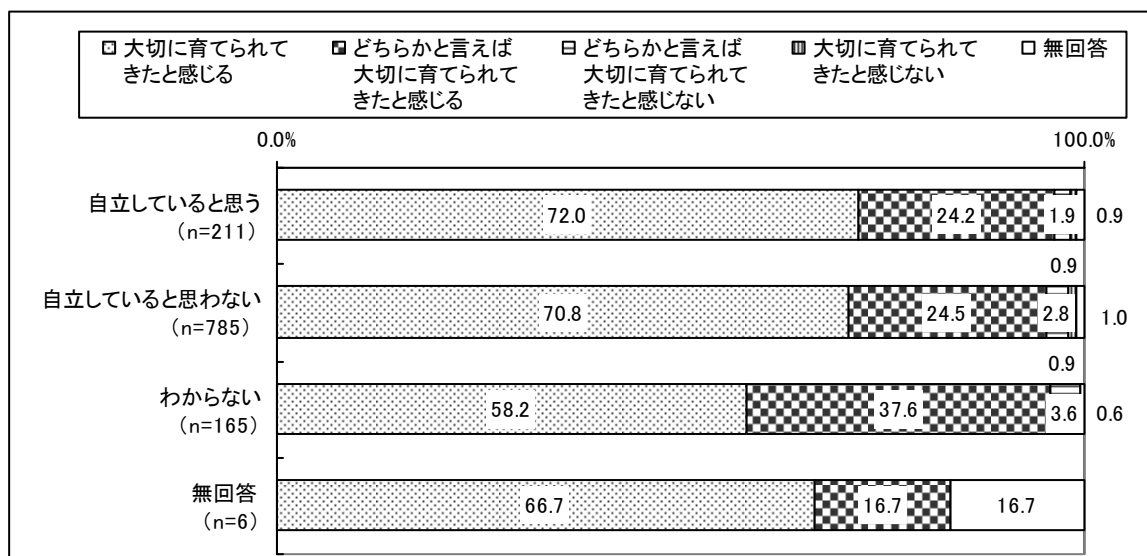
視点② 家庭生活と自立

若者の自立（「あなたは、自分が自立していると思いますか」）の意識と、本人の成育歴の中での、「家族とのコミュニケーション（会話やふれ合いなどを振り返って）」や「家庭環境（あなたは、これまで家族の中で大切に育てられてきたと感じますか）」との関連性で見えてくるものは何か。

ア「家族とのコミュニケーション（会話やふれ合いなどを振り返って）」の受け止め

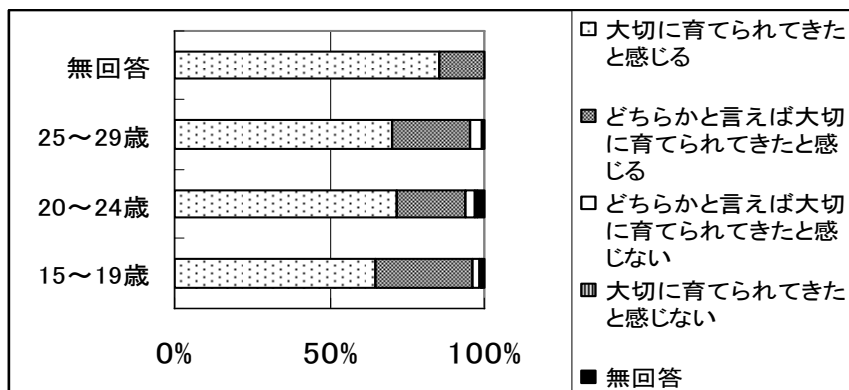


イ「本人の家庭環境（あなたは、これまで家族の中で大切に育てられてきたと感じますか）」との関連



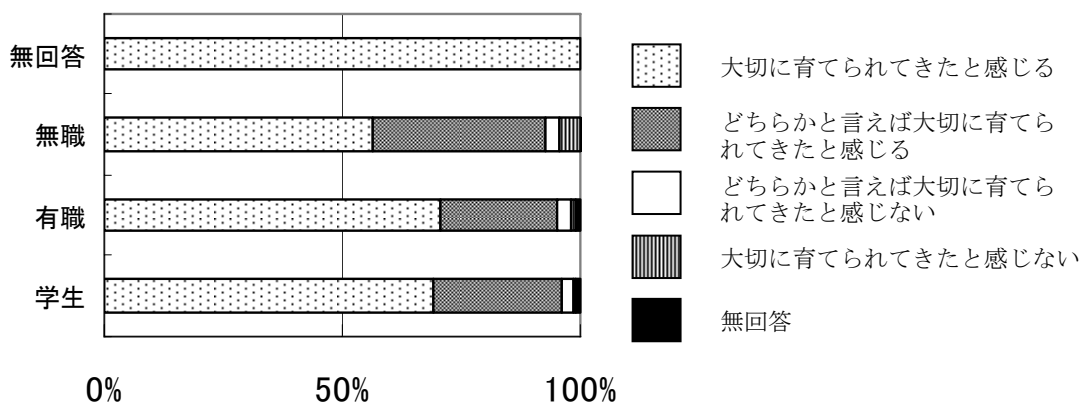
問9（「あなたは、自分が自立していると思いますか」）と問16（「あなたは、これまで家族の中で大切に育てられてきたと感じますか」）、問9と問17（「家族とのコミュニケーション（会話やふれ合いなど）を振り返って」）の回答からは、自立していると思うか思わないかと、家族の中で大切に育てられてきたと感じるかどうか、家族とのコミュニケーションの満足度については、明確な相関関係がなかった。というよりも、回答者は総じて、家族の中で大切に育てられてきたと思っている（「どちらかと言えば大切に育てられてきた」をあわせて95.4%）し、コミュニケーションについても満足している（「どちらかと言えば…」をあわせて84.3%）。家庭のしつけは「ある程度厳しかった」（49.4%）か、「あまり厳しくなかった」（28.4%）が、そのしつけを感謝している（「どちらかと言えば…」をあわせて90%弱）。

【参考 3-1】 年齢層別に見た家族とのコミュニケーションの受け止め



※「大切に育てられてきたと感じる」から「大切に育てられてきたと感じない」までの分布は、各層同程度の割合となっており、特定の年齢層だけに見られる特徴はなかった。全体結果は、21頁「①家庭における育てられ方」を参照。

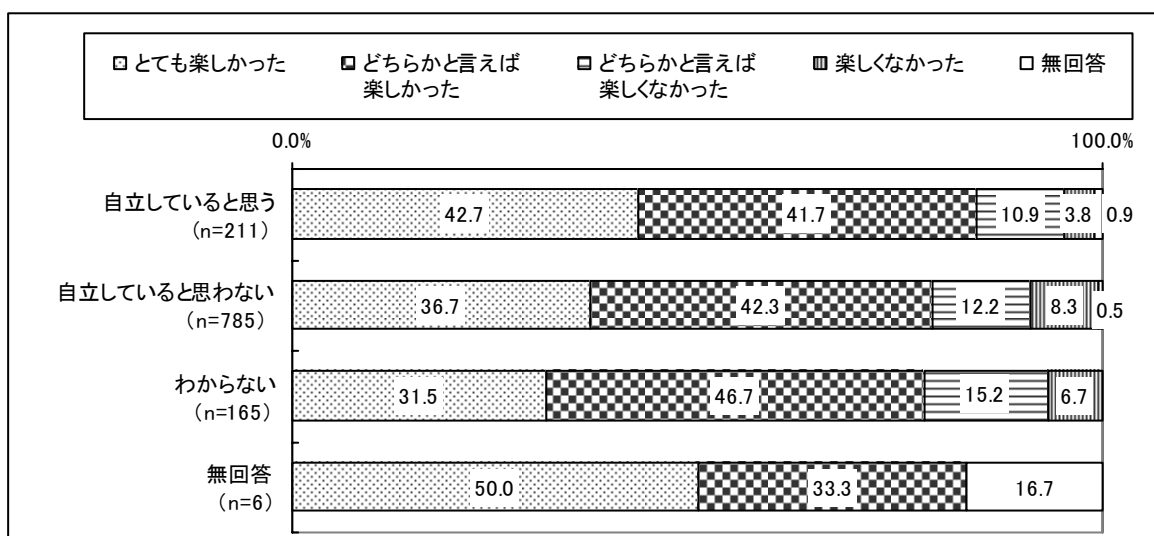
【参考 3-2】 学生・有職・無職別に見た家族とのコミュニケーションの受け止め



※学生（現在高校生～大学院生「7頁参照」）と有職（正社員～その他「7頁参照」）とのコミュニケーションの受け止めには、大きな差異は見られなかった。

視点③ 学校生活と自立

若者の自立（あなたは、自分が「自立して大人になる」と自覚する）意識と、義務教育における「本人の学校生活（あなたは、小・中学校時代を振り返って、どのように感じていますか）」との関連性で見えてくるものは何か。

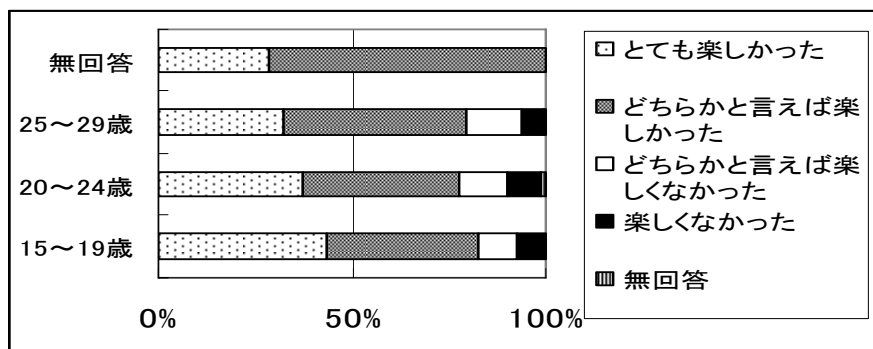


「小・中学校時代を振り返って、とても楽しかった」と答える割合は、「いまの自分に満足している」（問7）人ほど、「自分が自立していると思う」（問9）人ほど、「家族の中で大切に育てられてきたと感じる」（問16）人ほど高いが、これは一般的に想定されることである。

一方、同様に「とても楽しかった」と答える人が若年層ほど多いことについては、どう説明できるであろうか。小中学校時代が近いことによるものなのか、人生経験による変化が生じるものか、あるいは学校自体が変わっていることによるのかなどについては、追跡調査や更なる比較調査によらねば分からないことである。

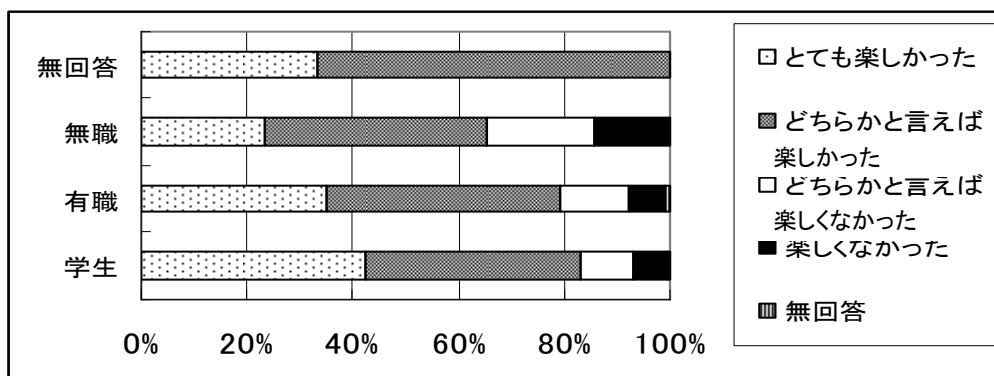
また、「どちらかと言えば楽しなかった」（12.3%）、「楽しなかった」（7.2%）と回答した約2割の人たちについて、学校のあり方など、今後、なんらかの検討が必要となろう。

【参考 4-1】 年齢層別に見た小・中学校時代を振り返った感想



※「とても楽しかった」割合は、年齢層が下がるにつれてやや高くなっている。ただし、「とても楽しかった」と「どちらかと言えば楽しかった」を合わせた割合は、各層とも同程度である。全体結果は、26 頁「①小・中学校時代を振り返った感想」を参照。

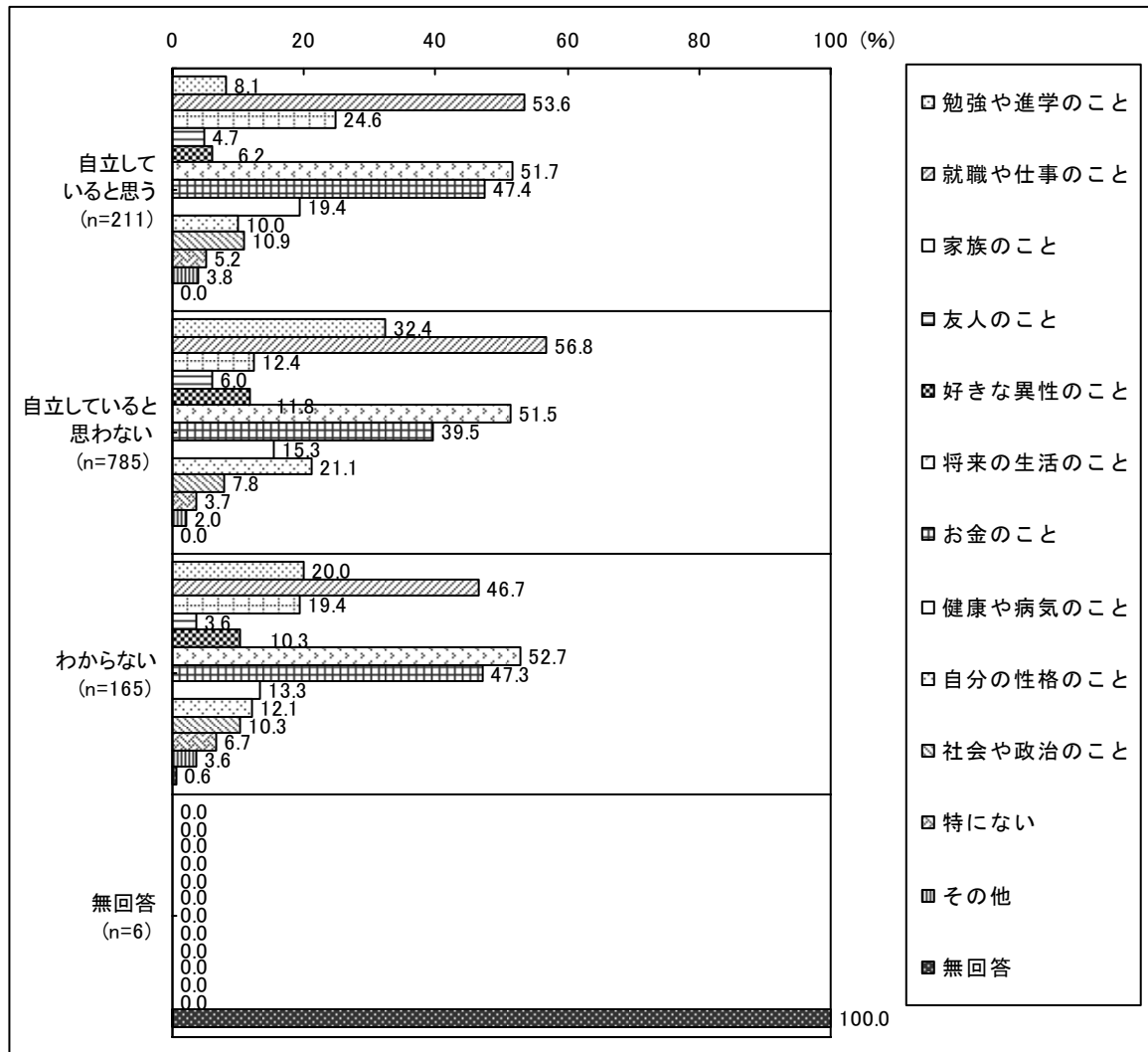
【参考 4-2】 学生・有職・無職別に見た小・中学校時代を振り返った感想



※学生（現在高校生～大学院生「7 頁参照」）に「とても楽しかった」割合がやや高い。ただし、「どちらかと言えば楽しかった」までの割合まで含めると、学生と有職（正社員～その他「7 頁参照」）とに、大きな差異は見られなかった。

視点④ 若者の悩みと自立

若者の自立（あなたは、自分が「自立して大人になる」と自覚する）意識と、現在持っている「本人の悩み（最近のあなたの悩みや心配ごとは何ですか）」との関連性で見えてくるものは何か。



最近の悩みや心配ごとの上位3つについては、問9（「あなたは、自分が自立していると思いますか」）における自立していると思う人も自立していると思わない人も同様である。すなわち「就職や仕事のこと」（自立していると思う人のうち 53.6%が選択：自立していると思わない人の 56.8%が選択。以下同様）、「将来の生活のこと」（51.7%：51.5%）、「お金のこと」（47.4%：39.5%）となっている。

そのほかの選択肢は、いずれも選択率が低いため、明確な違いは現れない。違いがあるとすれば選択数で、問14（「最近のあなたの悩みや心配ごとは何ですか」）は3つまで○をつける回答方式であるが、自立していると思う人は平均 2.45 個の○をつけ、自立していると思わない人は平均 2.60 個の○をつけている。つまり、自立していると思う人の方が、悩みが少ないということである。

【まとめ】

本調査全体を通じて、驚くような結果がでたわけではない。ある意味、「あたり前」の結果であった。となれば、若者の自立を劇的に促す施策というものもそう簡単にあるわけではなく、地道な施策実施とその評価・改善の繰り返しは避けられないであろう。

アンケート調査の限界（量的調査は容易であるが質的調査とその分析は難しいこと、回答しなかった人（53.3%）の意識こそ聞く必要があるのではないかと想定されること）をふまえながらも、問 30 の自由記述を活用しながら、「自立」とは何かを検討し、総合的に、個別的に、施策を進めていくことが求められる。

新潟大学大学院 現代社会文化研究科 准教授 雲 尾 周

VI 調査票

① あなたのことについて

問 6 いま、あなたが楽しい(充実している)と感じるのはどんなときですか。
あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 学習しているとき
- 2 働いているとき
- 3 家族と過ごしているとき
- 4 本を読んでいるとき
- 5 インターネットやメールをしているとき
- 6 ゲームをしているとき
- 7 音楽を聞いているとき
- 8 スポーツをしているとき
- 9 テレビをみているとき
- 10 食事をしているとき
- 11 買い物をしているとき
- 12 友人と過ごしているとき
- 13 その他 ()

問 7 あなたは、いまの自分に満足していますか。
あてはまるものに1つ○をつけてください。

- 1 満足している
- 2 どちらかと言えば満足している
- 3 どちらかと言えば満足していない
- 4 満足していない

問 8 あなたは、自分が「自立して大人になる」と自覚するのは、
次のどのときだと思いますか。あてはまるものに1つ○をつけてください。

- 1 最終学校を卒業したとき
- 2 二十歳になったとき
- 3 選挙で投票したとき
- 4 親元を離れて一人で生活を始めたとき
- 5 就職したとき
- 6 結婚したとき
- 7 子どもをもったとき
- 8 その他 ()

問 9 あなたは、自分が自立していると思いますか。
あてはまるものに1つ〇をつけてください。

- 1 自立していると思う
- 2 自立していると思わない
- 3 わからない

問10 あなたは、日ごろ、言いたいことがうまく話せる方だと思いますか。
あてはまるものに1つ〇をつけてください。

- 1 とてもうまく話せる方だと思う
- 2 どちらかと言えばうまく話せる方だと思う
- 3 どちらかと言えばうまく話せない方だと思う
- 4 話せない方だと思う

問11 あなたの人とのつきあいについてお聞きします。
あてはまるものに1つ〇をつけてください。

(1) 人とのつきあいにいつも気をつかう方ですか。

- 1 とても気をつかう
- 2 どちらかと言えば気をつかう
- 3 どちらかと言えば気をつかわない
- 4 気をつかわない

(2) 人とうまくつきあうことができますか。

- 1 うまくつきあうことができる
- 2 どちらかと言えばうまくつきあうことができる
- 3 どちらかと言えばうまくつきあうことができない
- 4 つきあうことができない

(3) 人とのつきあいを避けたいと思うことはありますか。

- 1 よく思う
- 2 ときどき思う
- 3 あまり思わない
- 4 思わない

問12 あなたは生きていくうえで、何を重視しますか。
最も重視するものに1つ〇をつけてください。

- 1 夢に向かって努力すること
- 2 やりがいのある仕事をする事
- 3 経済的に豊かになること
- 4 仕事と家庭を両立させること
- 5 趣味と仕事を両立させること
- 6 趣味を楽しむこと
- 7 地域や社会のためになることをすること
- 8 その他（ ）

問13 あなたが日ごろ共感を覚えたり、影響を受けたりするのは、次のうちどれが多いと思いますか。あてはまるものに3つまで〇をつけてください。

- 1 新聞・雑誌・書籍の意見や考え
- 2 テレビ・ラジオの意見や考え
- 3 インターネット上・携帯電話サイト上での意見や考え
- 4 学校の先生の意見や考え
- 5 職場の上司・先輩や上級生の意見や考え
- 6 友人や同僚の意見や考え
- 7 家族の意見や考え
- 8 その他（ ）

問14 最近のあなたの悩みや心配ごとは何ですか。
あてはまるものに3つまで〇をつけてください。

- 1 勉強や進学のこと
- 2 就職や仕事のこと
- 3 家族のこと
- 4 友人のこと
- 5 好きな異性のこと
- 6 将来の生活のこと
- 7 お金のこと
- 8 健康や病気のこと
- 9 自分の性格のこと
- 10 社会や政治のこと
- 11 特にない
- 12 その他（ ）

問19 あなたの家庭のしつけについてお聞きします。
あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(1) あなたの受けた家庭のしつけについて

- 1 厳しかった
- 2 ある程度厳しかった
- 3 あまり厳しくなかった
- 4 厳しくなかった

(2) あなたはしつけをどう受け止めていますか。

- 1 感謝している
- 2 どちらかと言えば感謝している
- 3 どちらかと言えば感謝していない
- 4 感謝していない

③ 学校や職業のことについて

問20 あなたは、小・中学校時代を振り返って、どのように感じていますか。
あてはまるものに1つ○をつけてください。

- 1 とても楽しかった
- 2 どちらかと言えば楽しかった
- 3 どちらかと言えば楽しくなかった
- 4 楽しくなかった

問21 あなたは学校を卒業した後も、何かを学習したいですか。
あてはまるものに1つ○をつけてください。

- 1 とても学習をしたい
- 2 どちらかと言えば学習したい
- 3 どちらかと言えば学習したくない
- 4 学習したくない
- 5 わからない

問22 あなたは、今まで家族など身近な人の働く姿をみてきて、どう感じましたか。
あてはまるものに1つ○をつけてください。

(1) -A 楽しさについて

- 1 とても楽しそうだった
- 2 すこし楽しそうだった
- 3 あまり楽しそうではなかった
- 4 楽しくなさそうだった

(1) -B 大変さについて

- 1 とても大変そうだった
- 2 すこし大変そうだった
- 3 あまり大変そうではなかった
- 4 大変そうではなかった

(2) あなた自身が働くことについて

- 1 一生懸命働きたい
- 2 どちらかといえば一生懸命働きたい
- 3 あまり働きたくない
- 4 働きたくない

問23 あなたにとって、「働くということ」はどういうことでしょうか。
あてはまるものに1つ○をつけてください。

- 1 経済的に豊かな生活を送りたいため
- 2 自分の能力を発揮する、あるいは自分が成長するため
- 3 楽しい生活をしたいため、あるいは日々の生活を充実させるため
- 4 会社の発展のために尽くしたいため
- 5 社会のために役に立ちたいため
- 6 社会的に偉くなりたいため（地位・名誉・出世など）
- 7 自分なりの生き方で生きたいため
- 8 その他（ ）

問24 あなたが働く上で、または仕事を選ぶ際に重視することは何でしょうか。
あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 仕事の内容や職種 | 2 収入が良いこと |
| 3 人間関係が良いこと | 4 労働時間 |
| 5 やりがいや自分を生かすこと | 6 通勤の便が良いこと |
| 7 将来性があること | 8 能力を高める機会があること |
| 9 専門的な知識や技術を生かせること | 10 事業や雇用が安定していること |
| 11 社会や人のために役に立つこと | 12 その他（ ） |

④ 地域社会との関わりについて

問25 あなたは、次のような「近所の人」がいますか。
あてはまるものにすべて○をつけてください。

- 1 あいさつをする人がいる
- 2 親しく会話をする人がいる
- 3 家族ぐるみのつきあいをする人がいる
- 4 悩み事を相談する人がいる
- 5 つきあいがいい

問26 地域社会における、学校や仕事以外の活動についてお聞きします。

- (1) 最近1年間に地域社会で、学校や仕事以外の活動で参加したことがある活動がありましたら、あてはまるものにすべて○をつけてください。
- (2) 今後、地域社会で参加したいものはありますか。
あてはまるものにすべて○をつけてください。

(1) 活動したことがある

- 1 文化活動（音楽、演劇など）
- 2 スポーツ・レクリエーション活動
- 3 地域のお祭りなど伝統行事
- 4 地域の環境整備や防災活動
- 5 子どもたちの指導・育成活動
- 6 高齢者・障がい者の支援活動
- 7 国際交流活動
- 8 まちづくりや地域活性のための活動
- 9 活動していない
- 10 その他（ ）

(2) 今後、参加したい活動

- 1 文化活動（音楽、演劇など）
- 2 スポーツ・レクリエーション活動
- 3 地域のお祭りなど伝統行事
- 4 地域の環境整備や防災活動
- 5 子どもたちの指導・育成活動
- 6 高齢者・障がい者の支援活動
- 7 国際交流活動
- 8 まちづくりや地域活性のための活動
- 9 活動したくない
- 10 その他（ ）

⑤ その他

問27 新潟市にある施設についてお聞きします。

(1) 以下の施設に関して、いま、初めて新潟にあることを知った、あるいは、初めて名前を聞いたものにすべて○をつけてください。

(2) また、あなたがよく利用している(した)施設がありましたら、すべて○をつけてください。

(1) 初めて知った、また名前を聞いた施設

- 1 ハローワーク新潟
- 2 若者しごと館
- 3 新潟地域若者サポートステーション
- 4 新潟市美術館
- 5 みなとぴあ(新潟市歴史博物館)
- 6 マリンピア日本海(新潟市水族館)
- 7 新潟市青少年育成センター
- 8 新潟市消費生活センター
- 9 クロスパルにいがた
- 10 りゅーとぴあ(新潟市民芸術文化会館)
- 11 ほんぽーと(新潟市中央図書館)
- 12 万代市民会館

(2) よく利用している(した)施設

- 1 ハローワーク新潟
- 2 若者しごと館
- 3 新潟地域若者サポートステーション
- 4 新潟市美術館
- 5 みなとぴあ(新潟市歴史博物館)
- 6 マリンピア日本海(新潟市水族館)
- 7 新潟市青少年育成センター
- 8 新潟市消費生活センター
- 9 クロスパルにいがた
- 10 りゅーとぴあ(新潟市民芸術文化会館)
- 11 ほんぽーと(新潟市中央図書館)
- 12 万代市民会館

問28 あなたは、若者向けにどんな場所が、もっと新潟市があればよいと思いますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 大きな音（楽器演奏など）を出してもよい場所
- 2 思いっきり身体を動かせる場所
- 3 友人と気軽におしゃべりできる場所
- 4 自分の悩み相談に乗ってくれる場所
- 5 趣味仲間が自由に集まれる場所
- 6 インターネットが一日中自由に使える場所
- 7 静かに勉強したり本が読める場所
- 8 その他（ ）

問29 今の日本社会について、あなたは、どのようなことが特に問題だと思いますか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 学歴社会であること
- 2 男女差別があること
- 3 豊かな人と貧しい人の差が大きいこと
- 4 出生率が低下していること
- 5 環境汚染が進んでいること
- 6 若者の就職難であること
- 7 ニートやフリーターが多くなっていること
- 8 学校以外でいろいろな体験をする機会が少ないこと
- 9 治安が悪くなってきていること
- 10 その他（ ）

問30 若者に関する施策について、新潟市に望むことがありましたら、
以下余白にお書きください。

本アンケートにご協力いただきありがとうございました。